

Windows7 から Windows10 に パソコンを入れ替える方へ

《TREND-ONE のデータ・設定の移行手順》

Windows7→Windows10 への移行の流れ

1. Windows7 でインストール方法を確認します



- スタンドアロン
- サーバークライアント（共同編集あり）
- サーバークライアント（共同編集なし）

2. 新しいパソコンに、データ・設定を移行します



- データ・設定のバックアップ
- プログラムのインストール
- データ・設定のリストア（復元）



Windows7 でインストール方法を確認します

まず、旧パソコン（Windows7）のTREND-ONEの「インストール方法」を確認します。
インストール方法によって、Windows10への移行の手順が変わります。

TREND-ONEのインストール方法を確認する

- 1 旧パソコン（Windows7）で「現場管理」を起動して、ウインドウのタイトルバーを確認します。



「現場管理（スタンドアロン）」と表示されている場合は



3ページからの手順で、Windows10への移行をおこないます。

3ページへ

「現場管理（共同編集あり）」と表示されている場合は



29ページからの手順で、Windows10への移行をおこないます。

29ページへ

「現場管理（共同編集なし）」と表示されている場合は



69ページからの手順で、Windows10への移行をおこないます。

69ページへ

新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

スタンドアロン用



Windows7 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

スタンドアロン用



Windows7での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows7）のTREND-ONEで、「現場データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 現場データをバックアップする

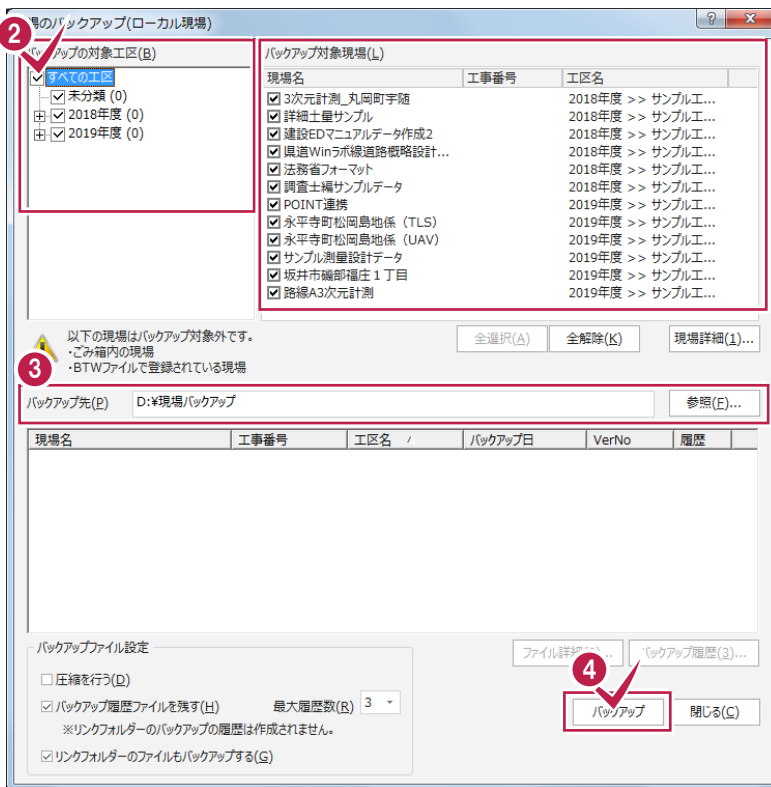
現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 現場管理を起動して、[書込] タブー [バックアップ] グループー [現場] をクリックします。



- 2 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

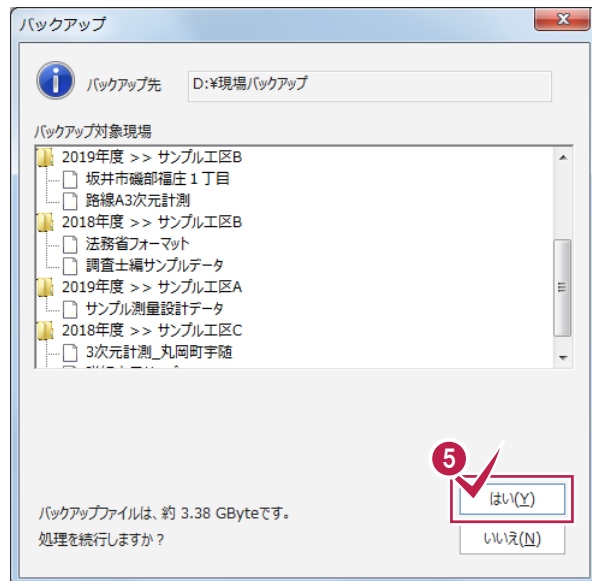
[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- 3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 4 [バックアップ] をクリックします。

- 5 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

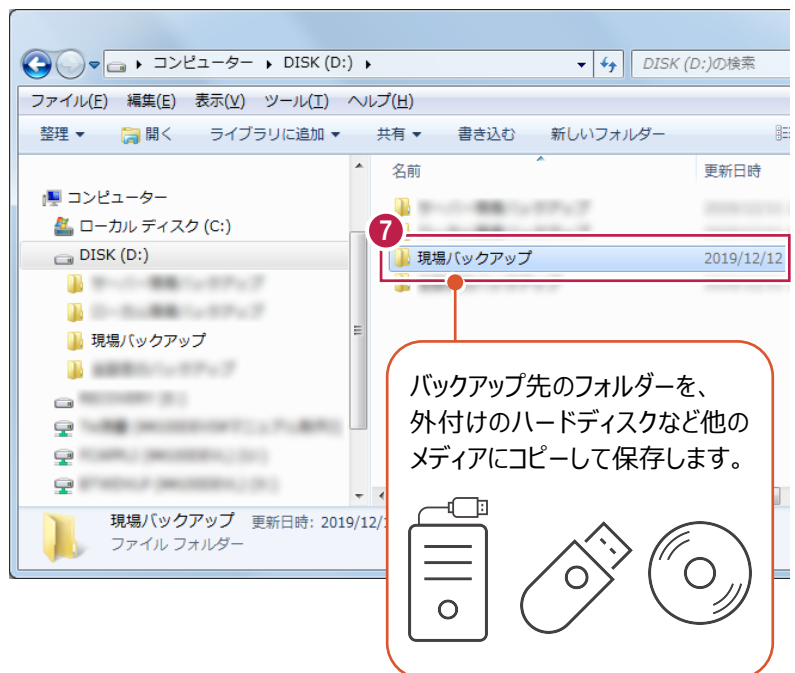


- 6 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。



- 7 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「現場データのバックアップ」は完了です。



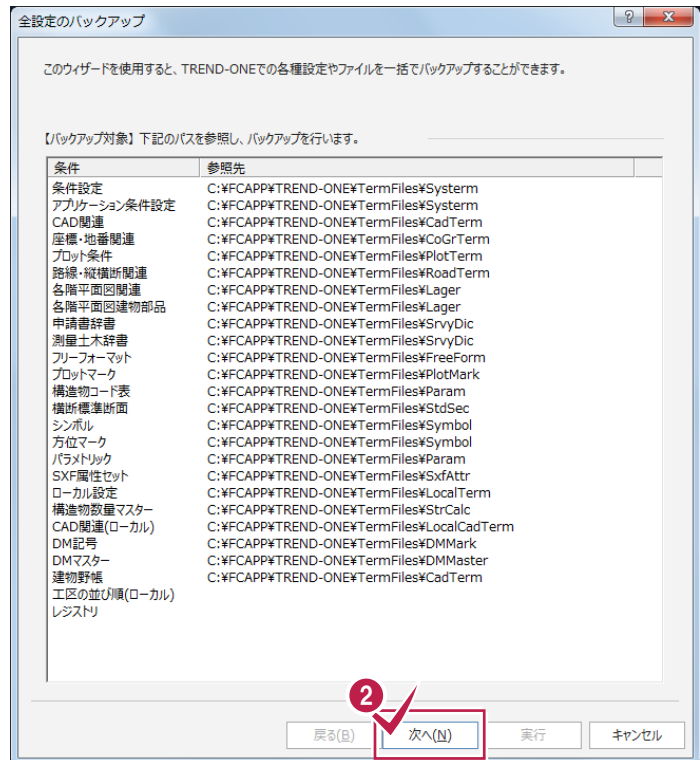
1-2 全設定をバックアップする

全設定をバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。

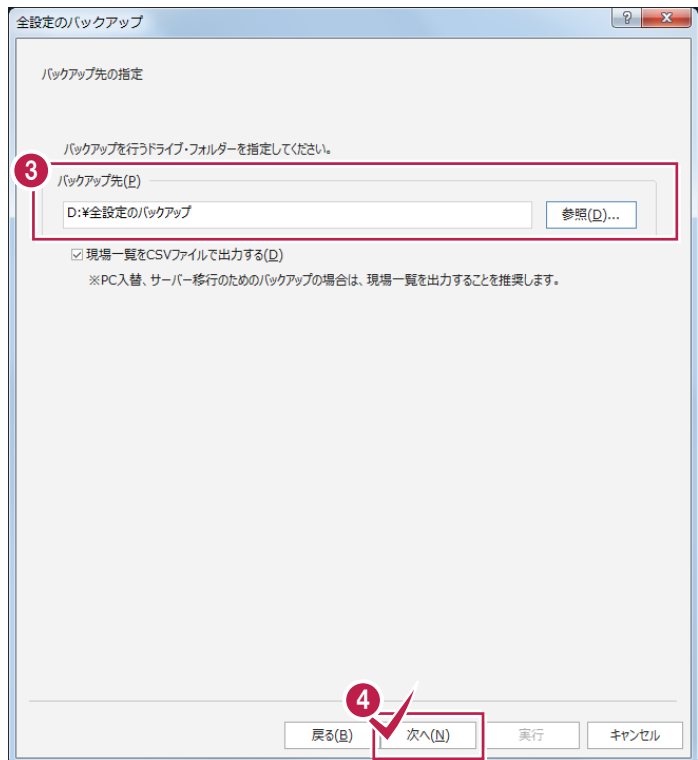


- 2 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。

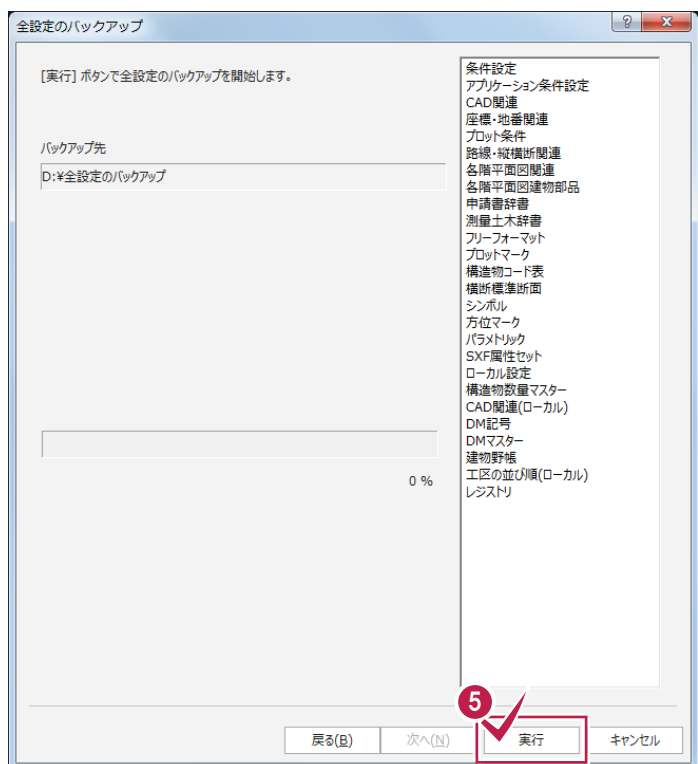


③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

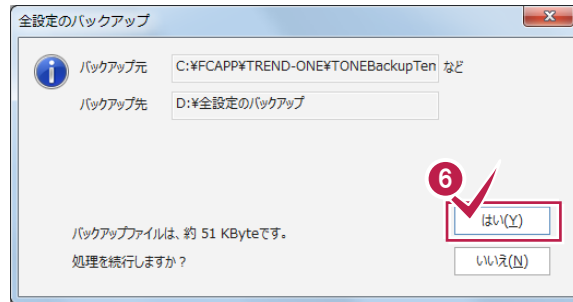
④ [次へ] をクリックします。



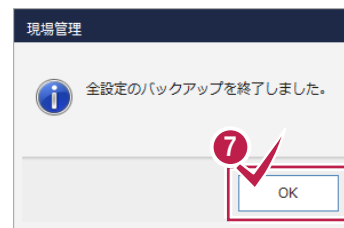
⑤ [実行] をクリックします。



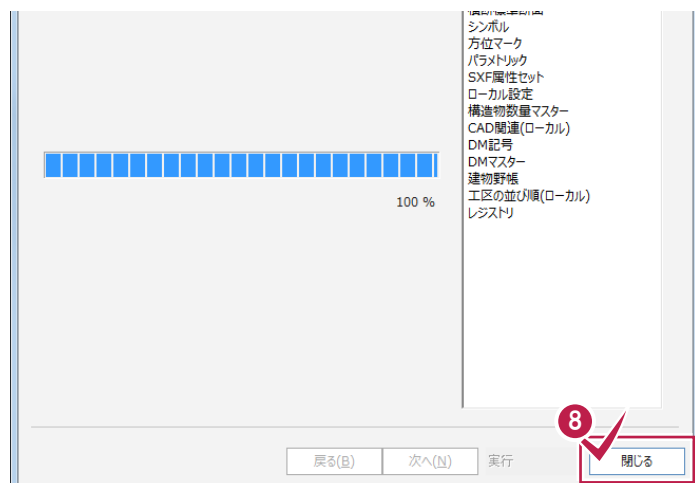
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

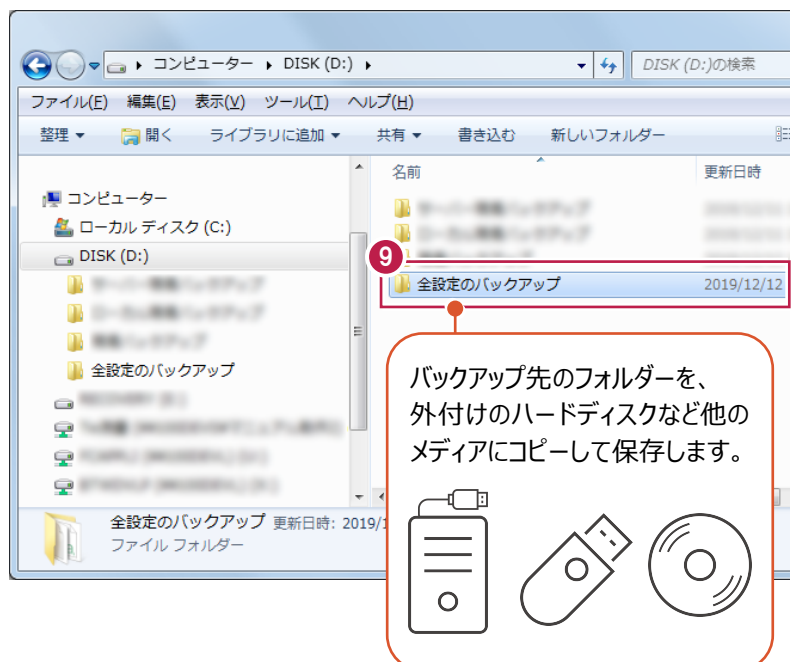


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。



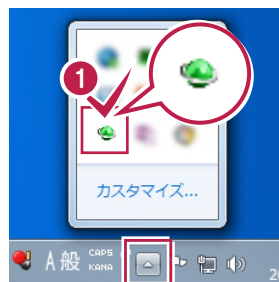


2 ライセンスの解除

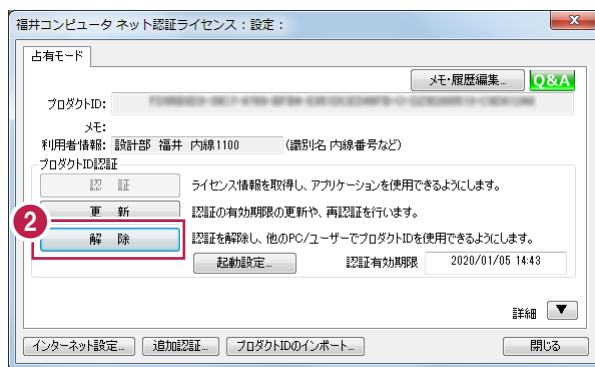
旧パソコン（Windows7）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows10）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

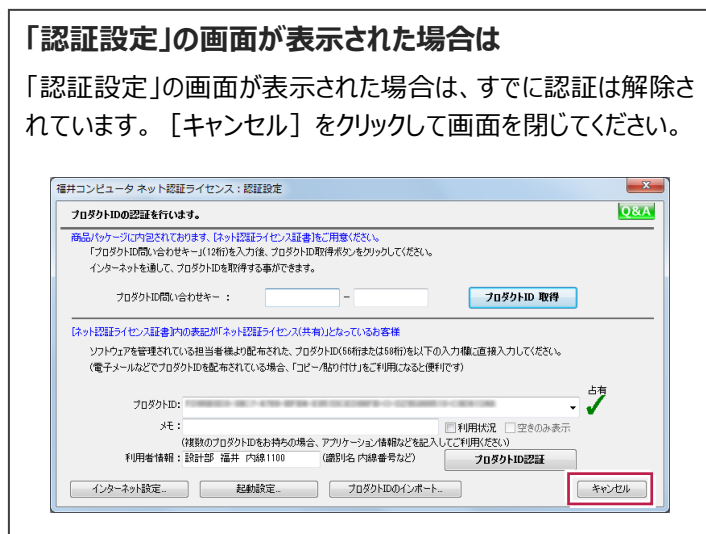


- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。



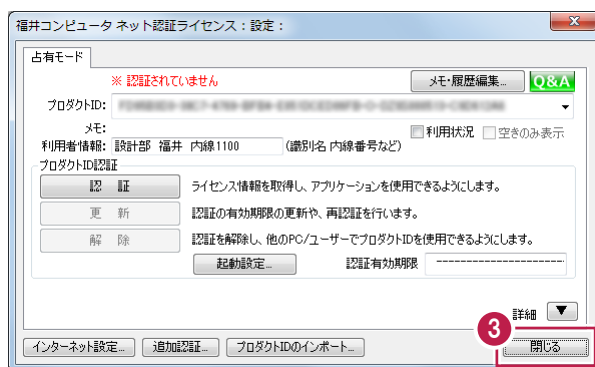
「認証設定」の画面が表示された場合は

「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- 3 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。



スタンドアロン用



Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3 FC コンシェルジュのインストール

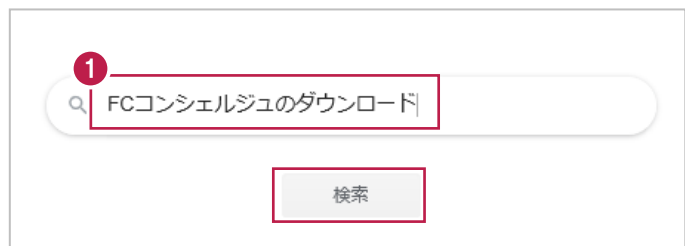
新パソコン (Window10) に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCコンシェルジュ」をインストールします。

3-1 FCコンシェルジュをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCコンシェルジュ」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC コンシェルジュのダウンロード」を検索します。



- 2 検索結果の「各種ダウンロード | 土木 CAD-福井コンピュータ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

<https://const.fukuicompu.co.jp/user/download.html>

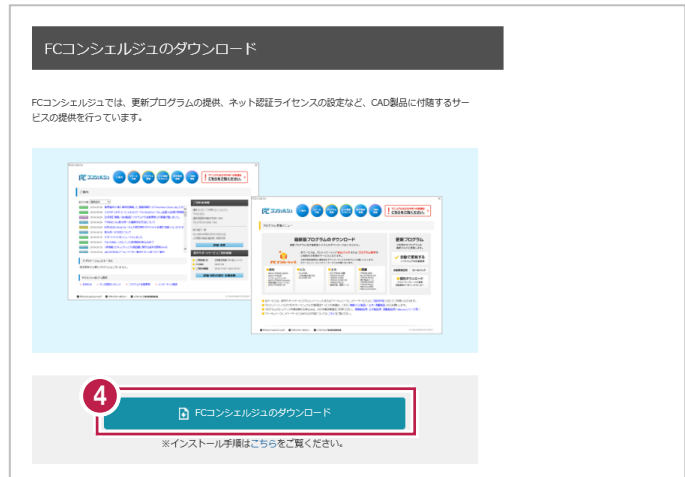


- 3 弊社 WEB サイトの「各種ダウンロード」ページが表示されます。

画面を下にスクロールします。

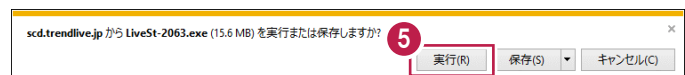


④ 「FC コンシェルジュのダウンロード」をクリックします。



⑤ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「実行」を押します。

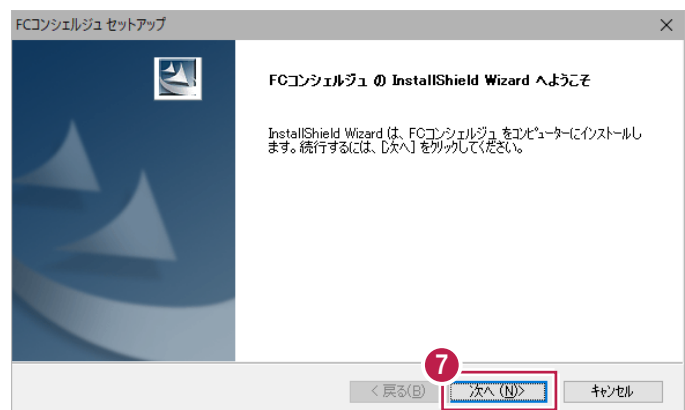
※PC に保存してから実行しても構いません。



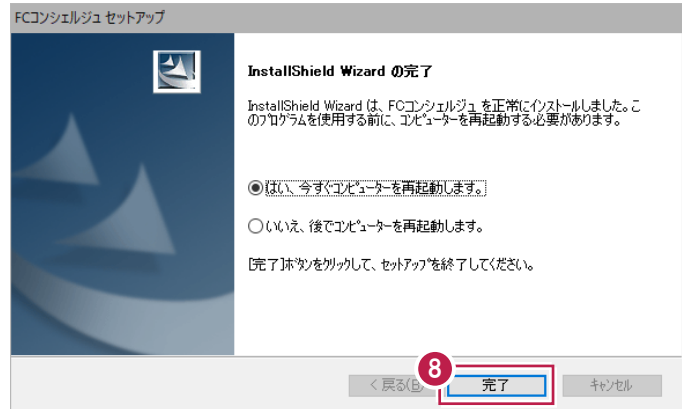
⑥ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



⑦ FC コンシェルジュのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



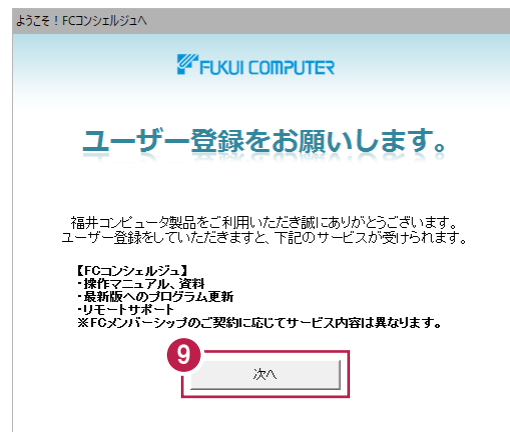
- 8 FC コンシェルジュのインストールを終えたら、コンピューターを再起動します。



- 9 コンピューターを再起動すると、FC コンシェルジュが起動します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。

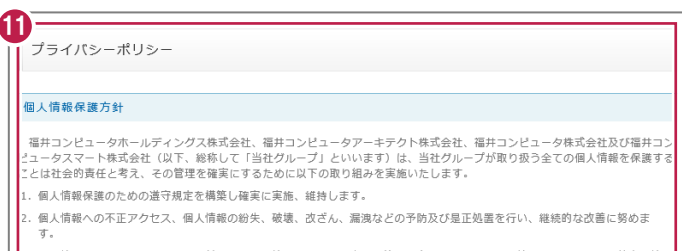
- ※ 最新プログラムのダウンロードなど、FC コンシェルジュの各種サービスを利用するには、ユーザー登録が必要です。



- 10 [プライバシーポリシー] をクリックします。



- 11 表示される [プライバシーポリシー] を最後まで熟読した後、画面を閉じます。



12 [プライバシーポリシーを承諾して次へ] をクリックします。



13 お客様の「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して、[次へ] をクリックします。



補足 ユーザー登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。

●製品に同封されているネット認証
ライセンス証書

ユーザーコード	009999
ユーザー名	福井コト
製品シリアル番号	*****

●プロテクト裏面のシール

ユーザコード：半角数字6桁もしくは7桁

製品シリアルNo.：半角英数字10桁

または

- 14 「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力し、
「登録する」をクリックします。



- 15 ユーザー登録を終えると、FCコンシェルジュが起動します。

以上で、「FCコンシェルジュのインストール」は完了です。

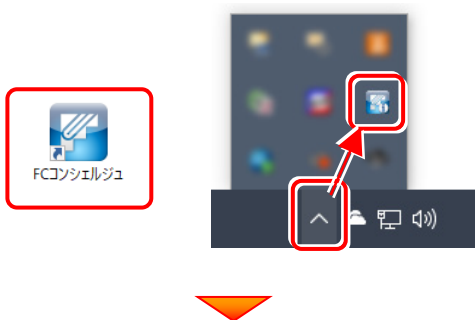




4 TREND-ONE のインストール

新パソコン (Windows10) にインストールしたFCコンシェルジュを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を開きます。



上部の[プログラム更新]をクリックします。



「更新プログラムのダウンロード」画面が表示されます。
[測定]をクリックします。



[ネット認証プロテクトをご利用のお客様]をクリックします。

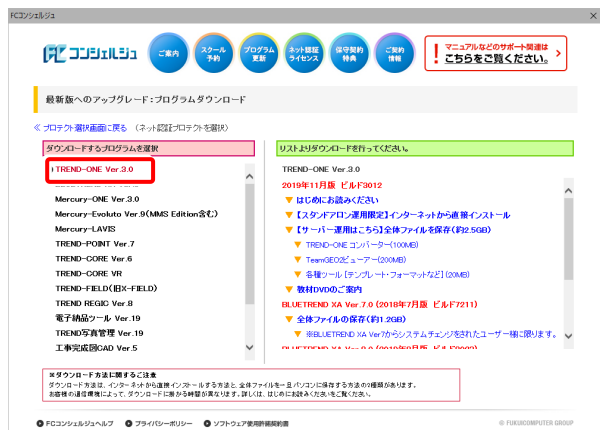


[次へ: 最新版プログラムのダウンロード画面へ]をクリックします。

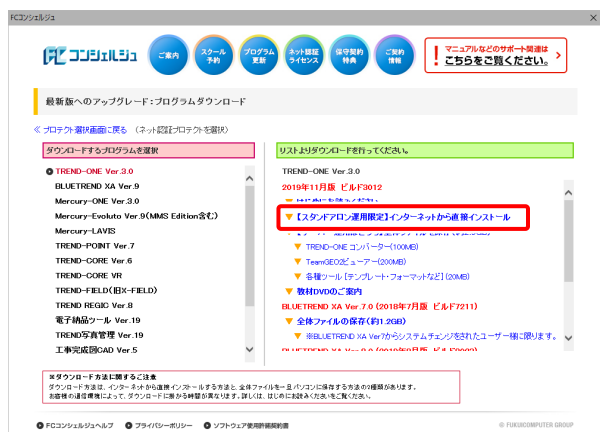


(次ページへ続く)

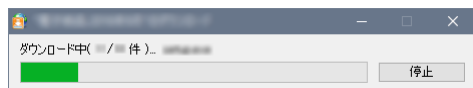
左の一覧で、[TREND-ONE]を選択します。



[[スタンドアロン運用限定]インターネットから直接インストール]をクリックします。



ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

2. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。

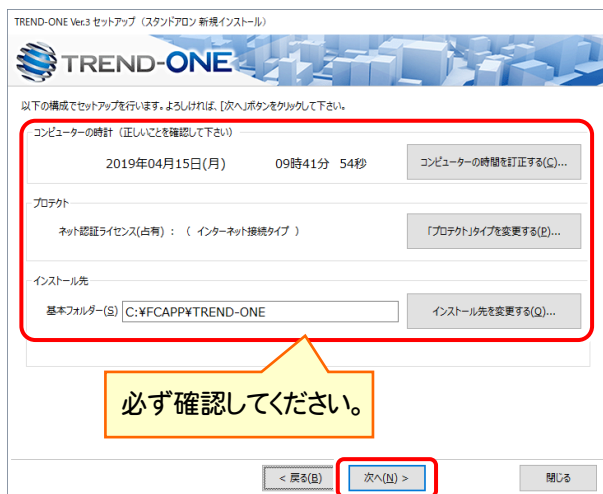


(次ページへ続く)

コンピューターの時計、使用するプロテクト(プロテクトタイプ)、インストール先フォルダーを確認します。

必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



5 ライセンスの認証

新パソコン (Windows10) でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス (占有) の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

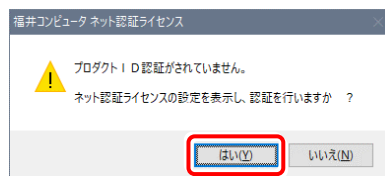
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス (占有) の、プロダクトID認証手順

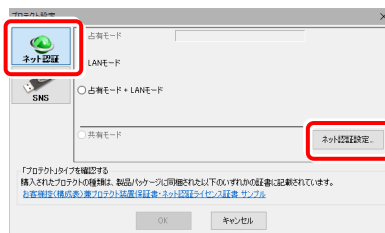
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス(占有)の認証をおこないます。

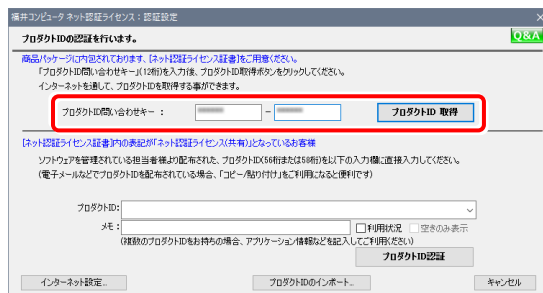


[プロダクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

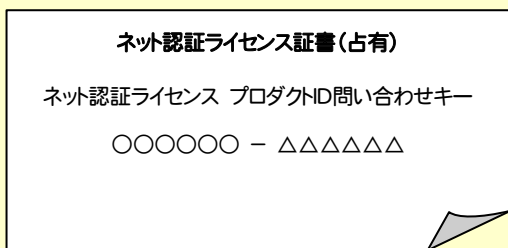


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

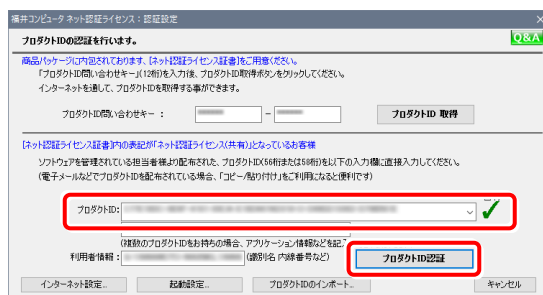
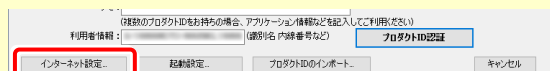
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



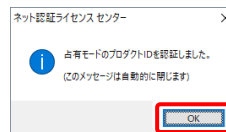
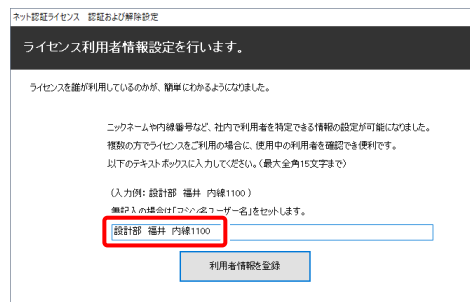
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

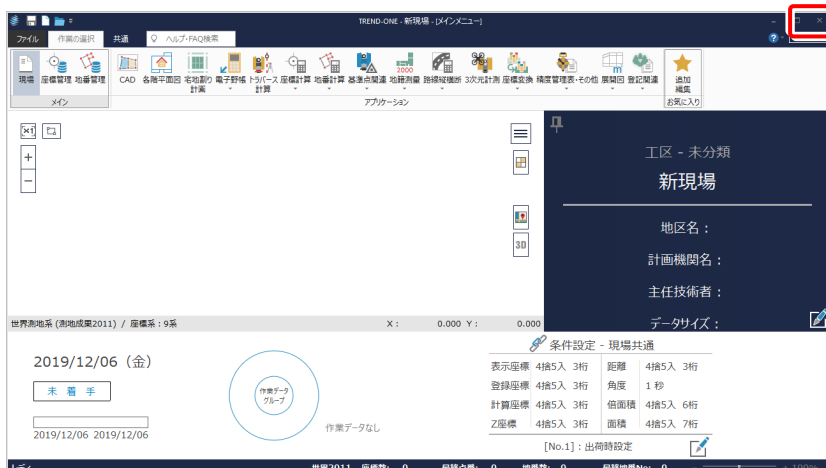
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6

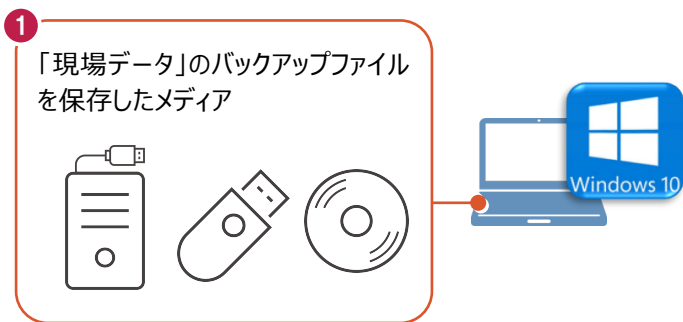
データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows7）でバックアップしたTREND-ONEの「現場データ」と「全設定」を、新パソコン（Windows10）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

6-1 バックアップした現場データをリストア（復元）する

バックアップした現場データをリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ [リストア] グループ [現場] をクリックします。

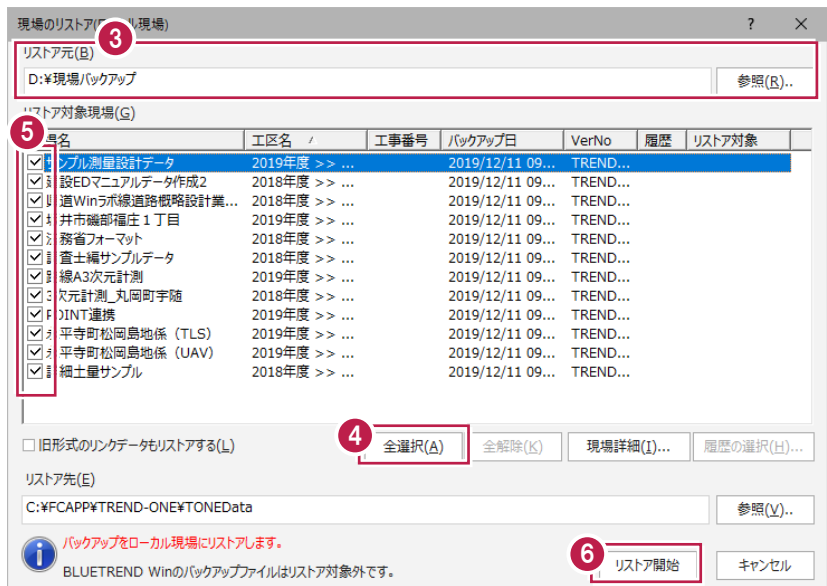


- 3 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

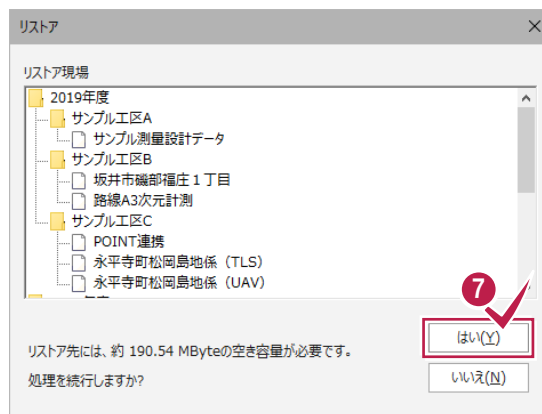
- 4 [全選択] をクリックします。

- 5 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 6 [リストア開始] をクリックします。



- 7 [はい] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。



- 8 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

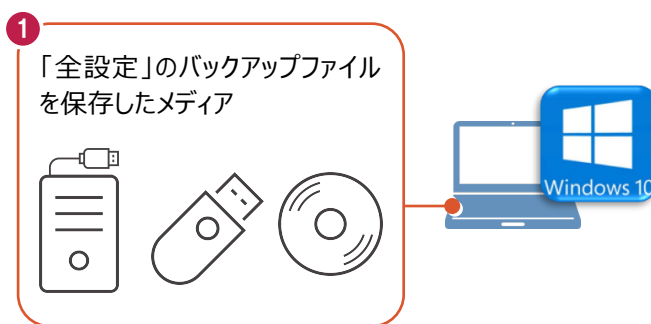
以上で「現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-2 バックアップした全設定をリストア（復元）する

バックアップした全設定をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

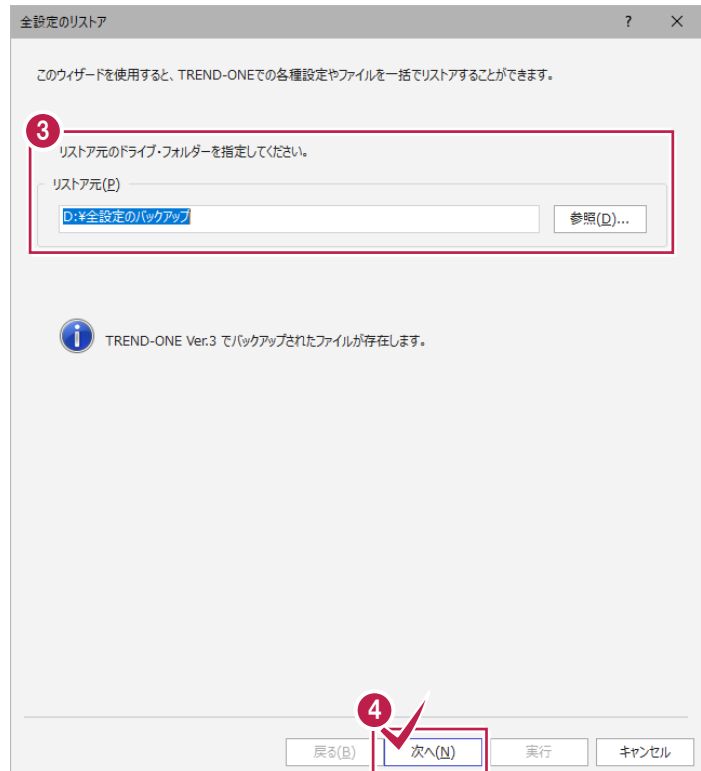
- 1 「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、新パソコンにセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。



- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- 4 [次へ] をクリックします。

- 5 [全選択] をクリックします。

- 6 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。



- 7 [次へ] をクリックします。

- 8 [実行] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。

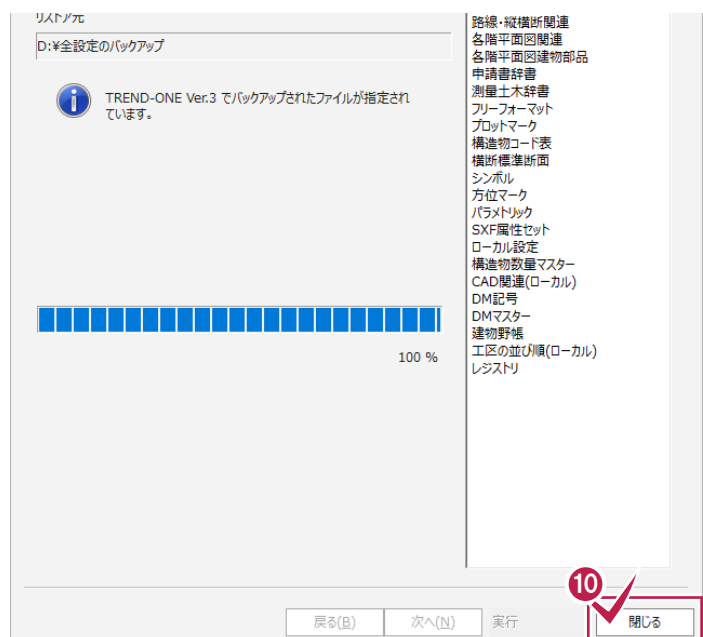


- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックします。

以上で「全設定のリストア（復元）」は完了です。





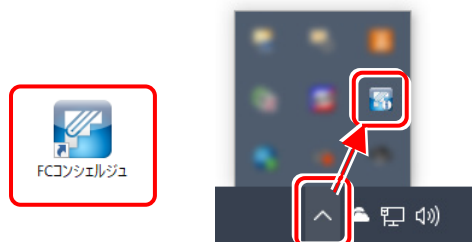
7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

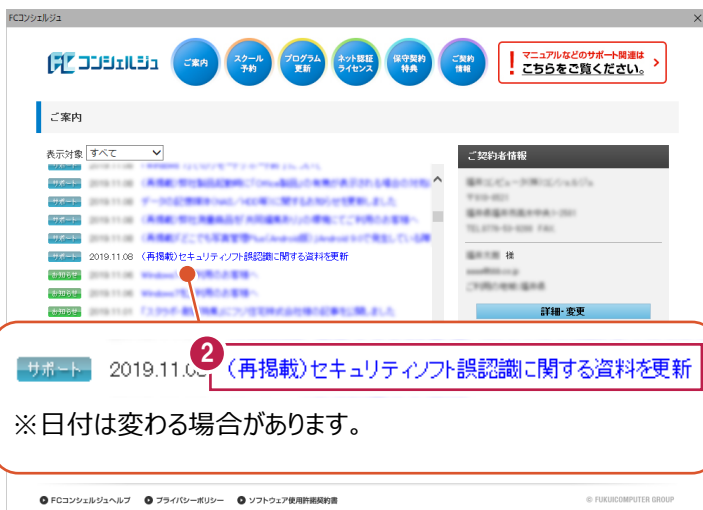
7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC コンシェルジュ」を起動します。

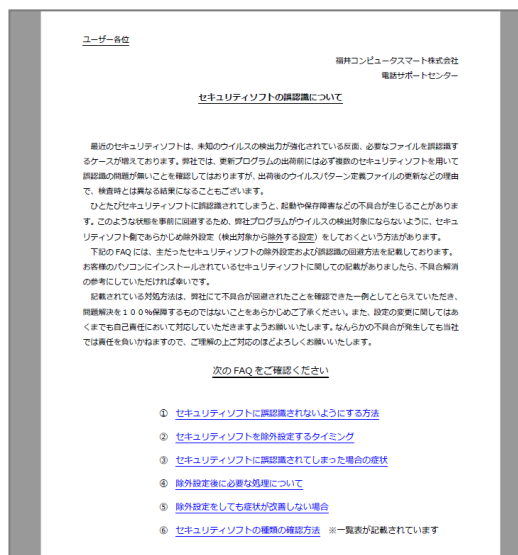


- 2 FC コンシェルジュの「ご案内」にある「（再掲載）セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新」をクリックします。

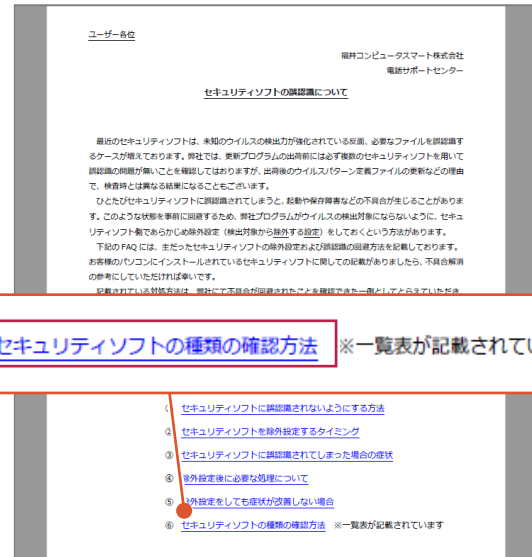
（※ご案内の日付は変わる場合があります。）



- 3 「セキュリティソフトの誤認識について」の PDF が開きます。内容を確認してください。



4 「⑥ セキュリティソフトの確認方法」をクリックします。



5 セキュリティソフトの FAQ が表示されます。

「製品別手順書」で、お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

FUKUI COMPUTER 起動関連

検索したい語句を入力してください。

起動関連 > セキュリティソフト

プログラム名	起動関連	Ver.	-	ID	SYS0028	更新日	2019/11/22
<p>Q: 自分のPCに入っているセキュリティソフトの種類はどのようにして確認できますか。</p> <p>A: デスクトップや通知領域のアイコン、スタートメニューのプログラム名などでご確認ください。 次の一覧より、各セキュリティソフトの除外設定手順に進めます。</p>							

5

販売元	製品別手順書
トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTレッツウイルスクリア・セキュリティ対策ツールはこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)
シマンテック (ノートン) シマンテック	ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ マイクロソフト ディフェンダー Windows セキュリティセンター
ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
カスペルスキー	インターネット セキュリティ (アンチウイルス) ※@Niftyの常時安全セキュリティ24はこちら エンドポイント セキュリティ
マカフィー	リブセーフ インターネットセキュリティ Ver.16

- ㄨㄚ -

新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集あり）用



Windows7 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

サーバクライアント（共同編集あり）用



Windows7での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows7）のTREND-ONEで、「サーバー現場データ」と「ローカル現場データ」、「全設定」をバックアップします。

1-1 「サーバー現場データ」をバックアップする

サーバー現場データをバックアップする手順です。

「サーバー現場データのバックアップ」は、サーバーでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

① サーバーのデスクトップにある

[TREND-ONE バックアップツール]

をダブルクリック、または

[スタートメニュー] -

[FukuiComputerApplication] -

[TREND-ONE サーバーツール] -

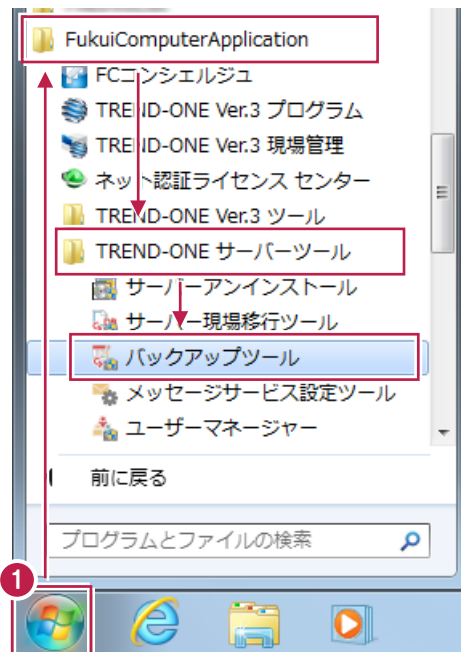
[バックアップツール]

をクリックして、「サーバーバックアップツール」を起動します。

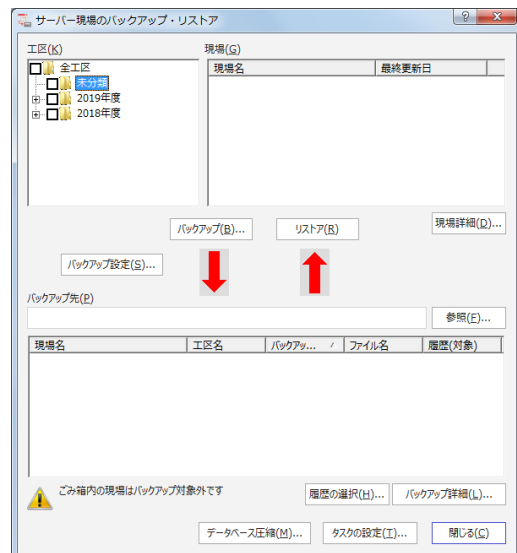
「デスクトップ」



「スタートメニュー」



「サーバーバックアップツール」





1

2



3

4

5

6

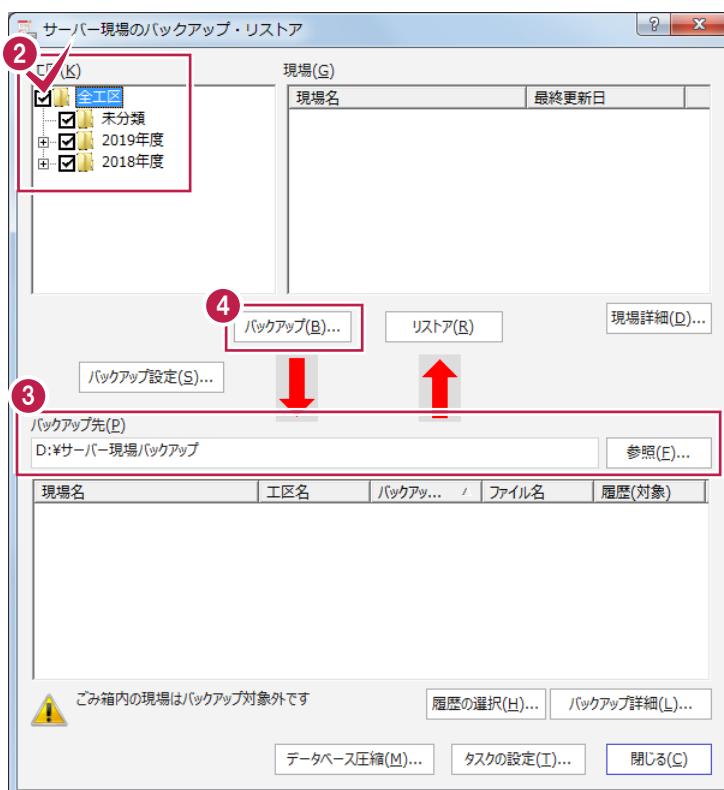
7

- 2 「全工区」のチェックをオンにします。

すべての工区のチェックが「オン」になったことを確認します。

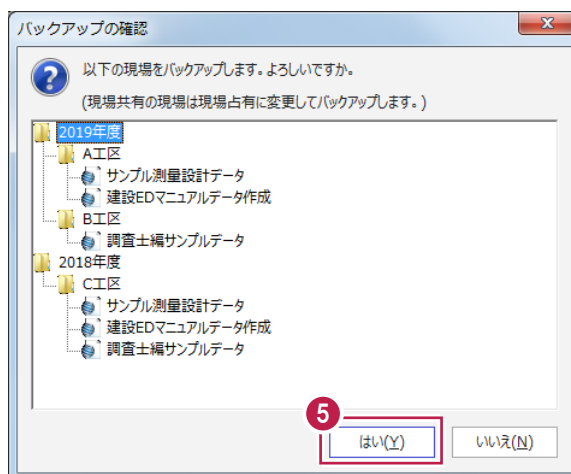
- 3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 4 [バックアップ] をクリックします。

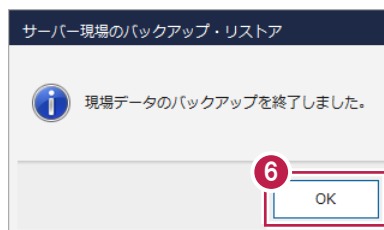


- 5 [はい] をクリックします。

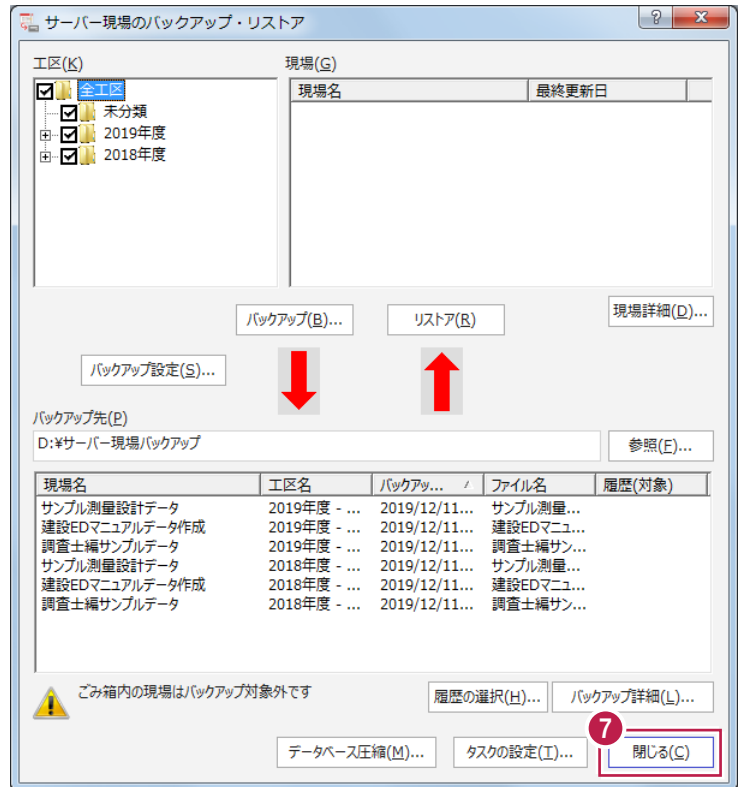
バックアップが開始されます。



- 6 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。

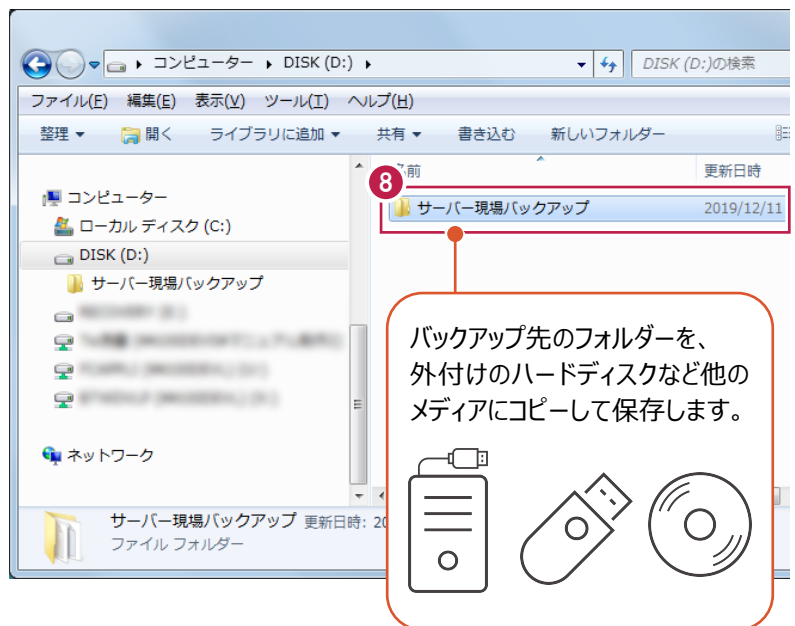


- 7 「サーバーバックアップツール」の「閉じる」をクリックして終了します。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「サーバー現場データのバックアップ」は完了です。



1-2 ローカル現場データをバックアップする

各クライアントPCに保存されているローカル現場データをバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

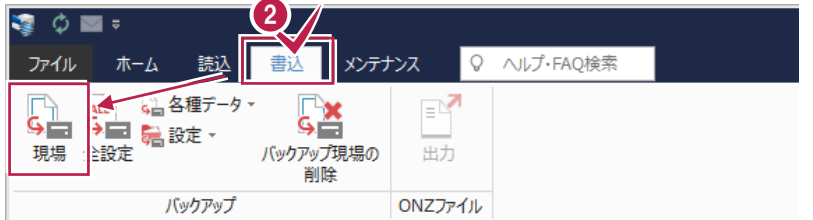
「ローカル現場データのバックアップ」は、すべてのクライアント PC でおこないます。

※ただし、ローカル現場を持たないPCでは、必要ありません。

- ① 現場管理を起動して、[ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。

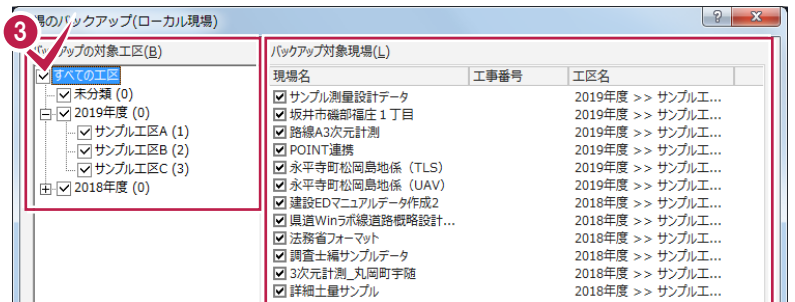


- ② [書込] タブー [バックアップ] グループー [現場] をクリックします。

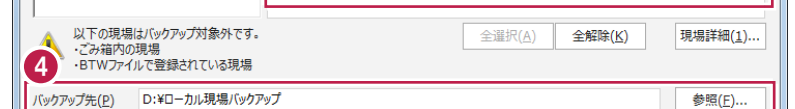


- ③ 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- ④ バックアップ先のフォルダーを指定します。



- ⑤ [バックアップ] をクリックします。





1

2



3

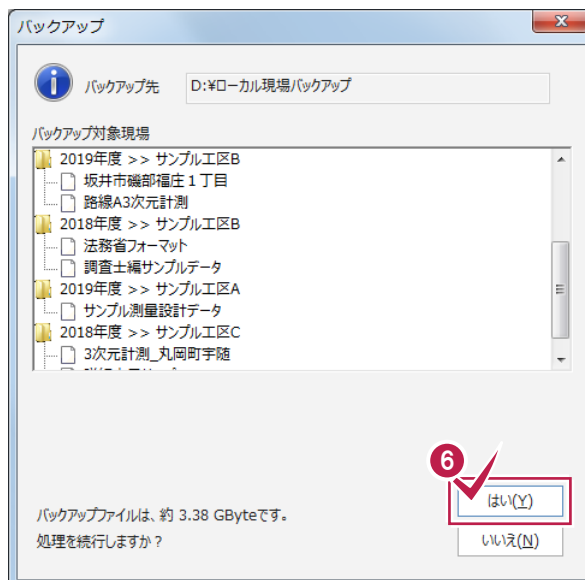
4

5

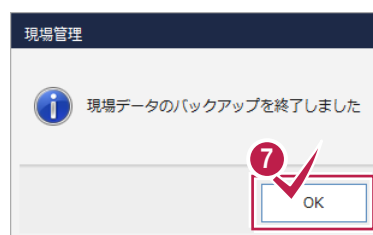
6

7

- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

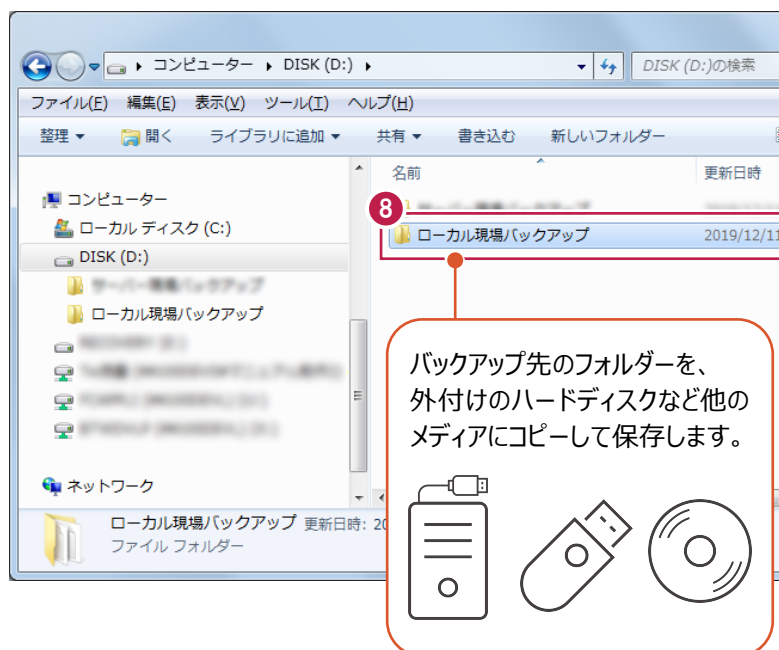


- 7 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「ローカル現場データのバックアップ」は完了です。



1-3 全設定をバックアップする

サーバーと各クライアントPCに保存されている全設定をバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

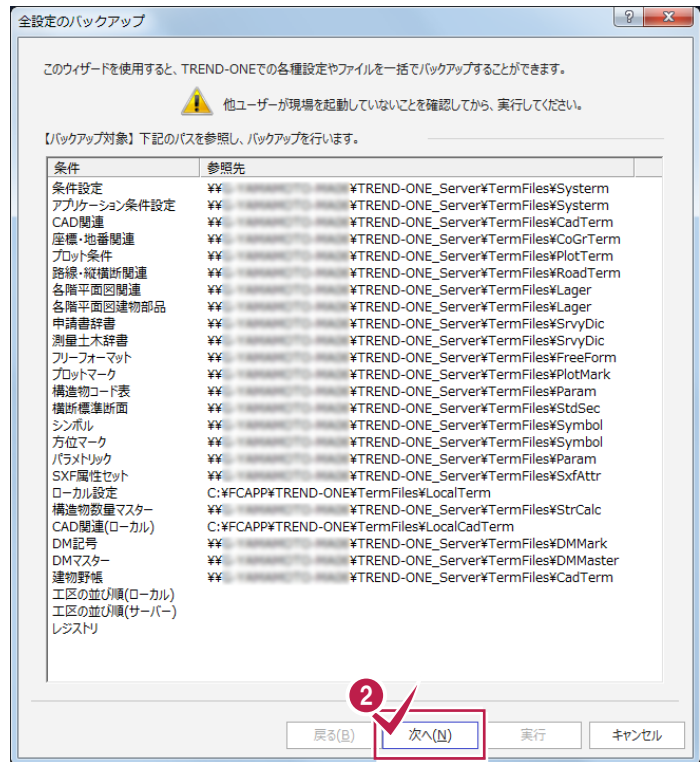
「全設定のバックアップ」は、すべてのクライアント PC でおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- ① 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。



- ② バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。





1

2



3

4

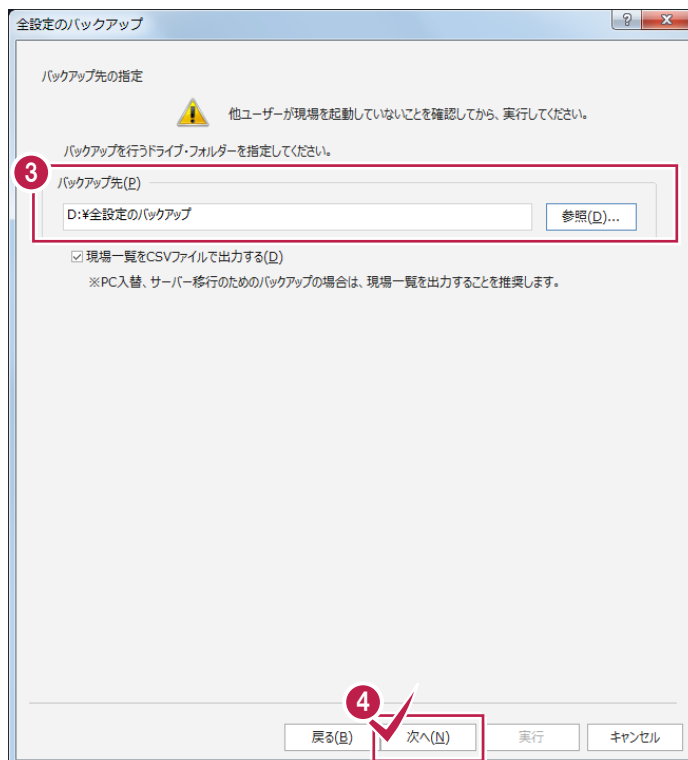
5

6

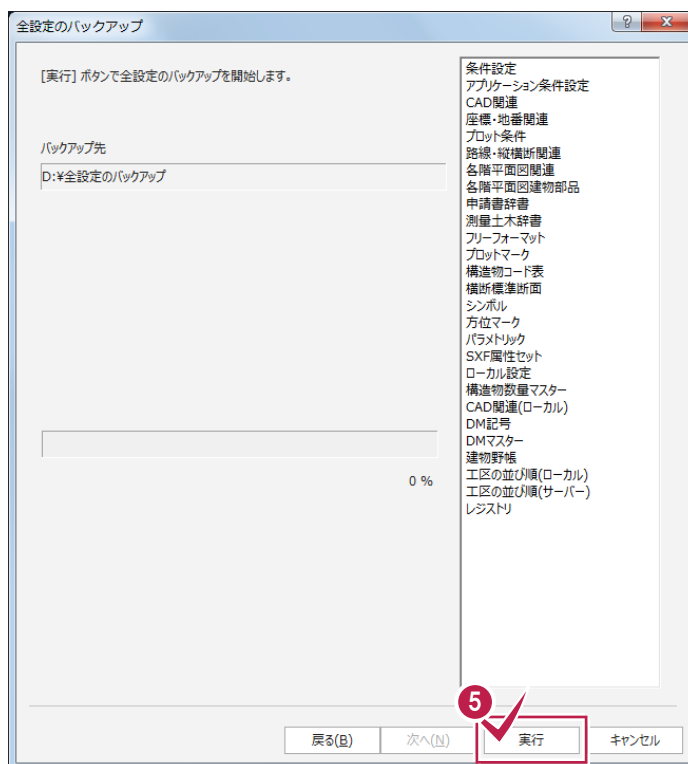
7

3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

4 [次へ] をクリックします。



5 [実行] をクリックします。





1

2



3

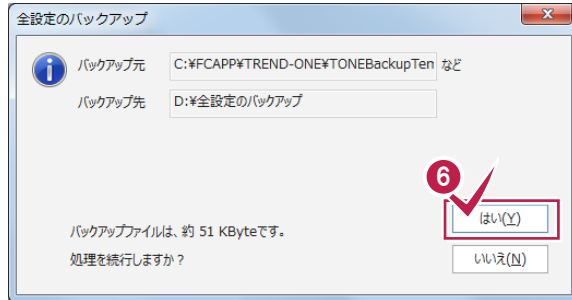
4

5

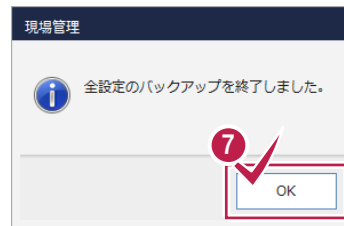
6

7

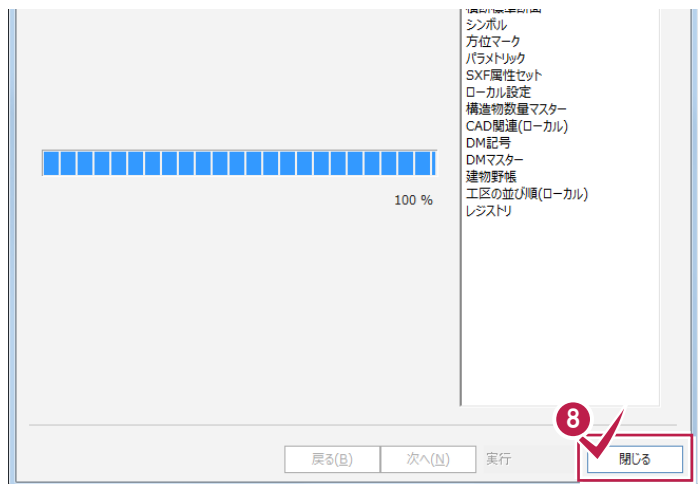
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

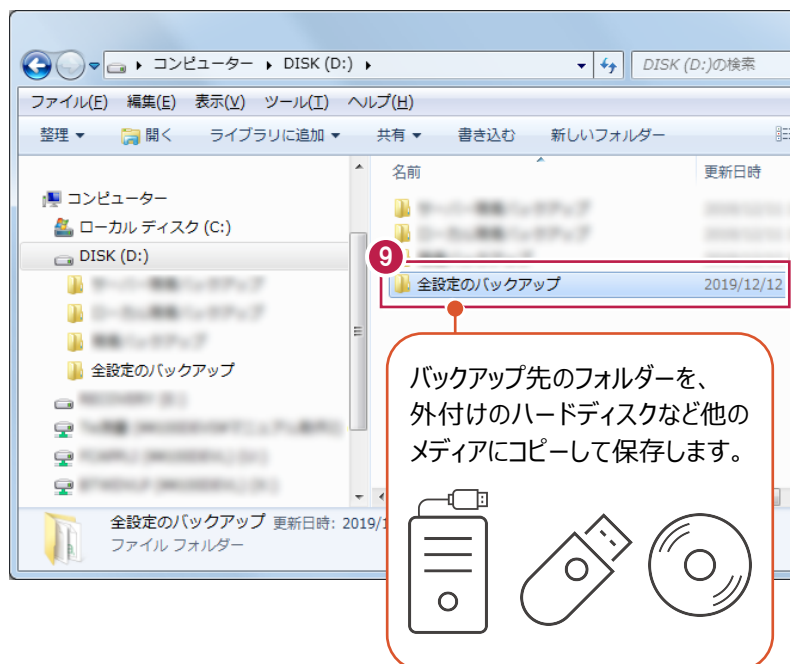


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。





2

ライセンスの解除

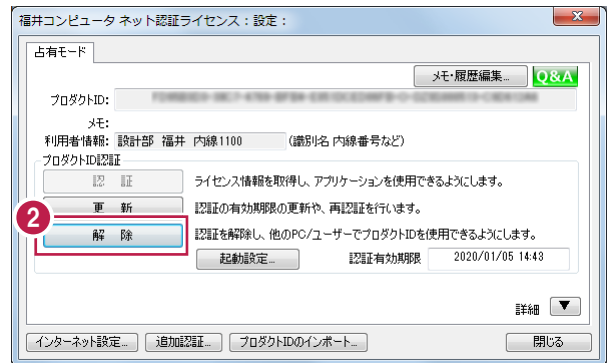
旧パソコン（Windows7）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows10）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

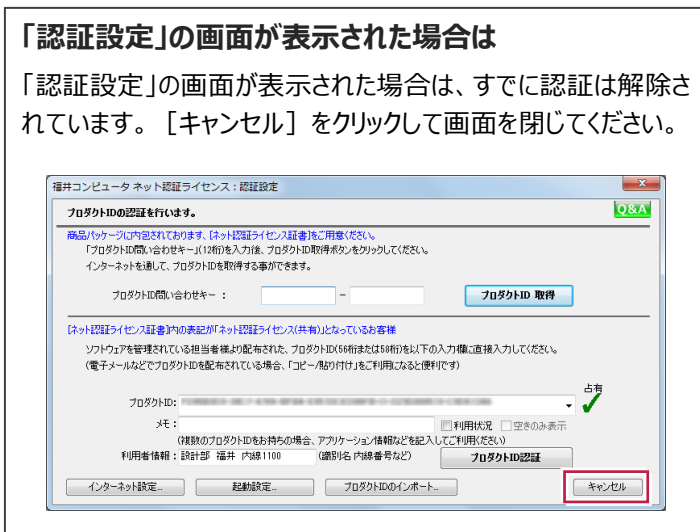


- ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。



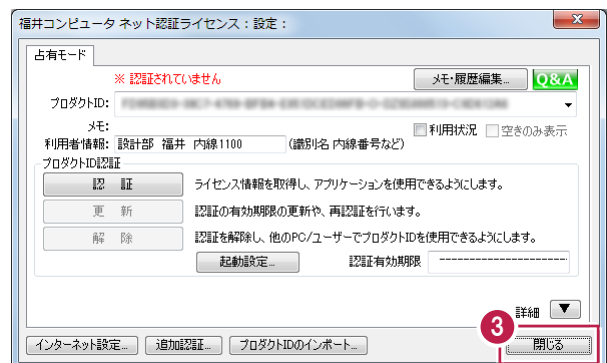
「認証設定」の画面が表示された場合は

「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。



サーバクライアント（共同編集あり）用



Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3

FC コンシェルジュのインストール

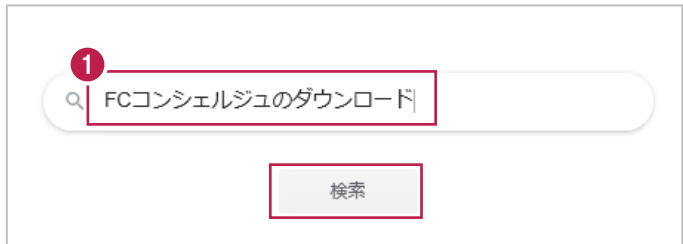
新パソコン（Window10）に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCコンシェルジュ」をインストールします。

3-1 FCコンシェルジュをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCコンシェルジュ」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC コンシェルジュのダウンロード」を検索します。



- 2 検索結果の「各種ダウンロード | 土木 CAD-福井コンピュータ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

<https://const.fukuicompu.co.jp/user/download.html>

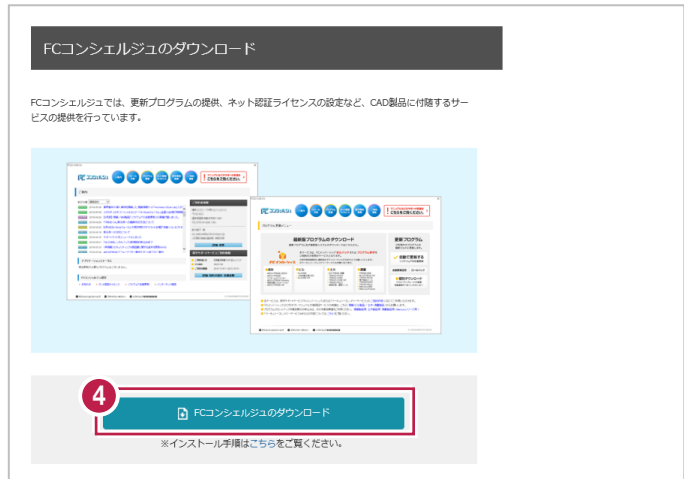


- 3 弊社 WEB サイトの「各種ダウンロード」ページが表示されます。

画面を下にスクロールします。

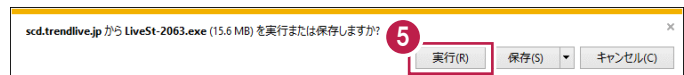


4 「FC コンシェルジュのダウンロード」をクリックします。



5 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「実行」を押します。

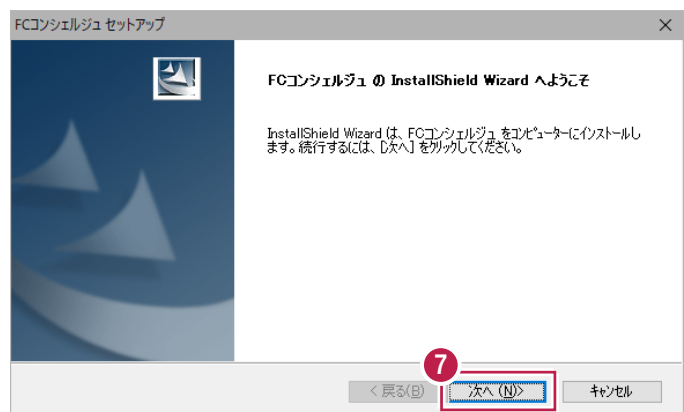
※PC に保存してから実行しても構いません。



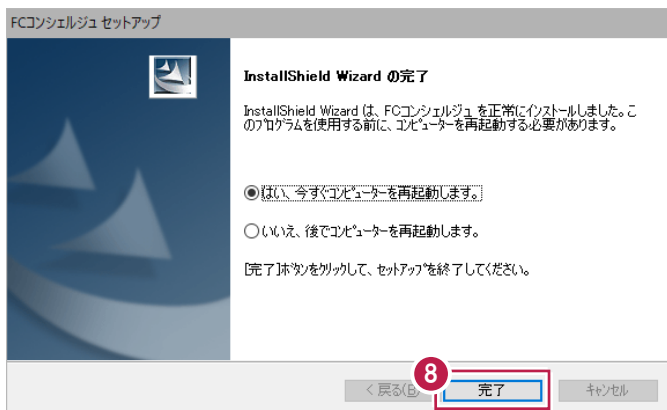
6 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



7 FC コンシェルジュのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。

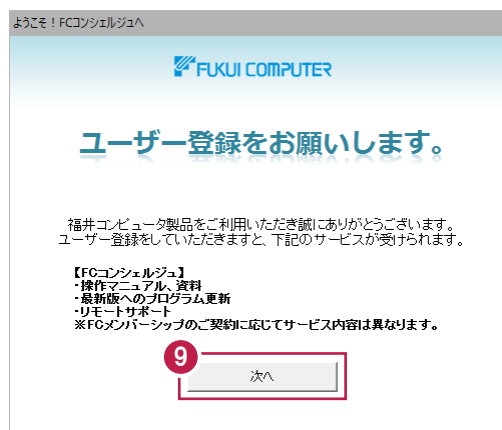


- 8 FC コンシェルジュのインストールを終えたら、コンピューターを再起動します。



- 9 コンピューターを再起動すると、FC コンシェルジュが起動します。
[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。

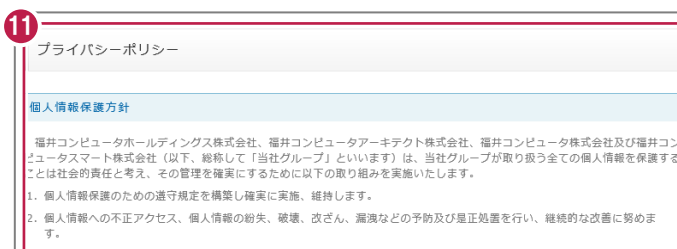
※ 最新プログラムのダウンロードなど、FC コンシェルジュの各種サービスを利用するには、ユーザー登録が必要です。



- 10 [プライバシーポリシー] をクリックします。



- 11 表示される [プライバシーポリシー] を最後まで熟読した後、画面を閉じます。



- 12 [プライバシーポリシーを承諾して次へ] をクリックします。



- 13 お客様の「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して、[次へ] をクリックします。



補足 ユーザー登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。

●製品に同封されているネット認証
ライセンス証書

ユーザーコード	009999
ユーザー名	福井コト
製品シリアル番号	*****

●プロテクト裏面のシール

ユーザコード：半角数字6桁もしくは7桁

製品シリアルNo.：半角英数字10桁

または

- 14 「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力し、
「登録する」をクリックします。



- 15 ユーザー登録を終えると、FCコンシェルジュが起動します。

以上で、「FCコンシェルジュのインストール」は完了です。

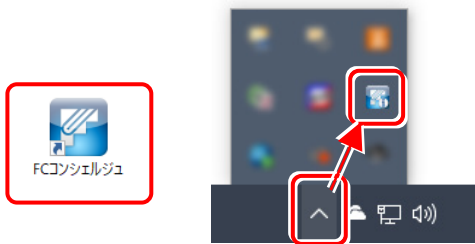




4 TREND-ONE のインストール

新パソコン（Windows10）にインストールしたFCコンシェルジュを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を開きます。



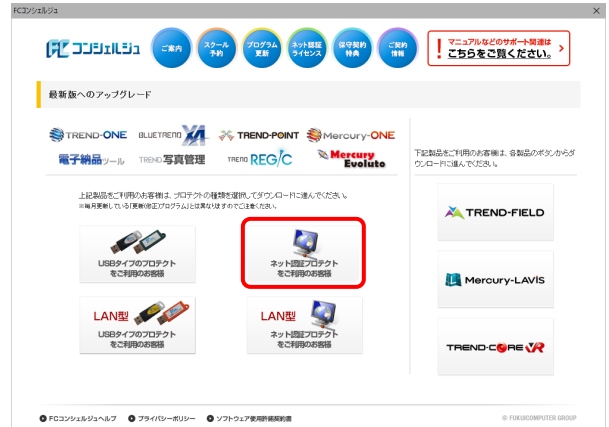
上部の[プログラム更新]をクリックします。



「更新プログラムのダウンロード」画面が表示されます。
[測定]をクリックします。



[ネット認証プロテクトをご利用のお客様]をクリックします。

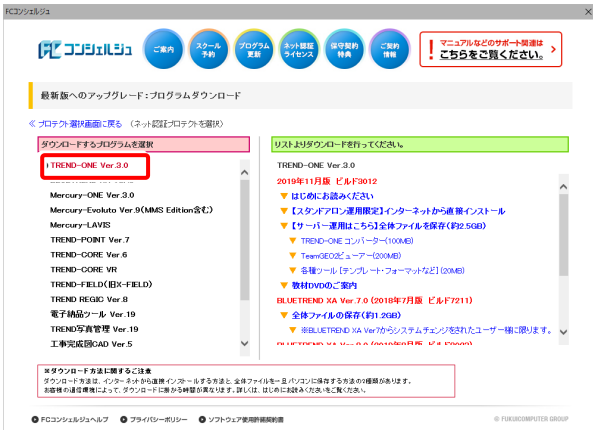


[次へ：最新版プログラムのダウンロード画面へ]をクリックします。

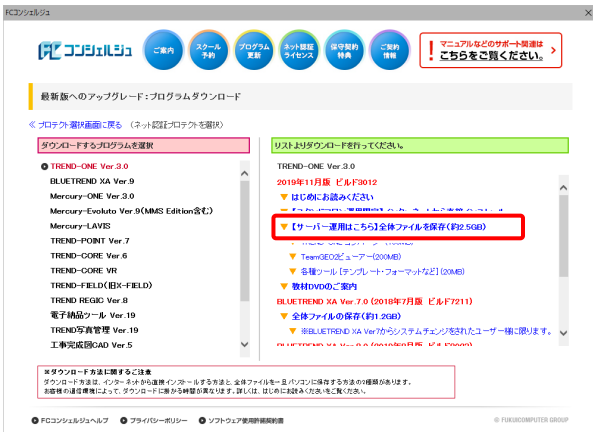


(次ページへ続く)

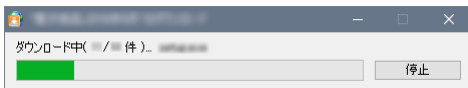
左の一覧で、[TREND-ONE]を選択します。



[[【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存] をクリックします。



ダウンロードが開始されます。



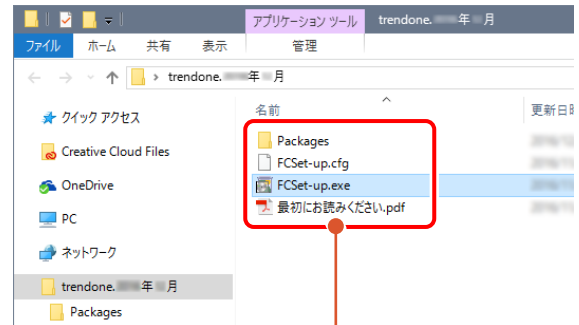
※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

2. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

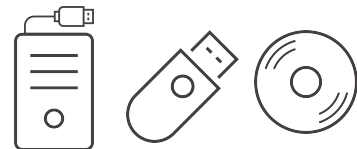
[閉じる]をクリックして画面を閉じます。



3. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなどのメディアにコピーして保存します。



外付けのハードディスクなどのメディアにコピーして保存します。



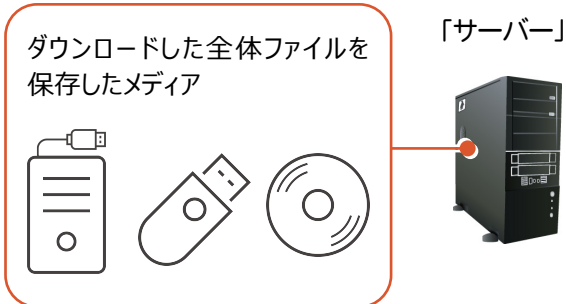
以上で、全体ファイルの保存は完了です。

続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

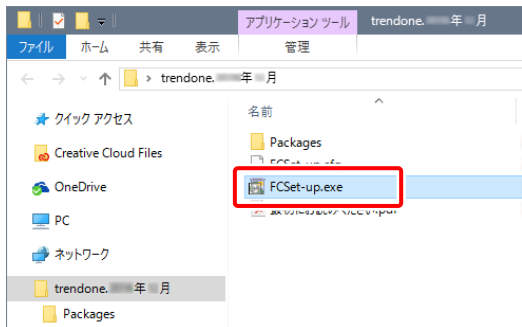
(次ページへ続く)

まず、サーバーにプログラムをインストールします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。



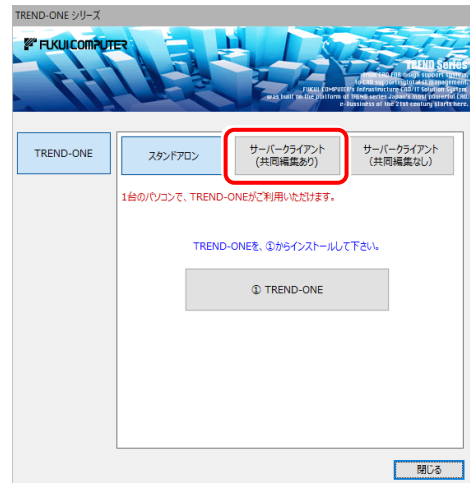
2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



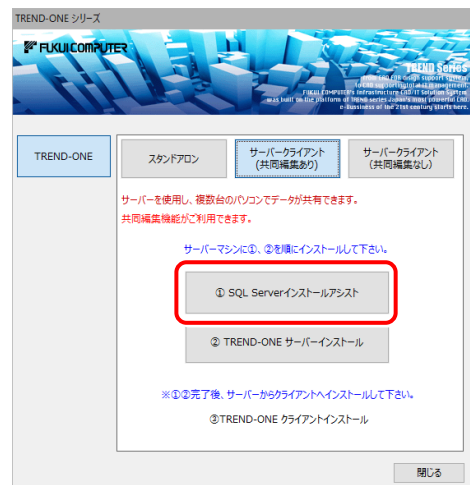
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバークライアント（共同編集あり）]タブを選択します。



[① SQLServer インストールアシスト]ボタンを押します。



(次ページへ続く)

4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

インストールアシストが不要な場合があります

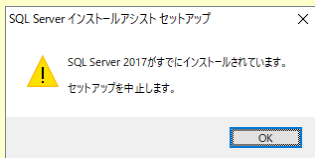
※ コンピューターに、既に製品版の「SQL Server」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールしないでください。

次ページへ進んでください。

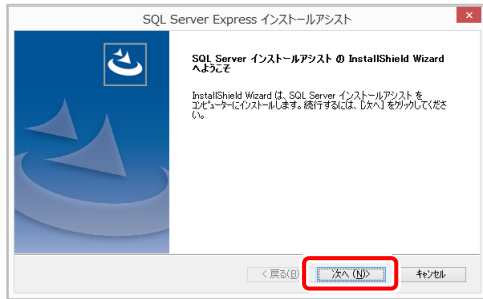
※ 「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールする必要がない場合は、「セットアップ(インストール)を中止します。」とメッセージが表示されます。

次ページへ進んでください。

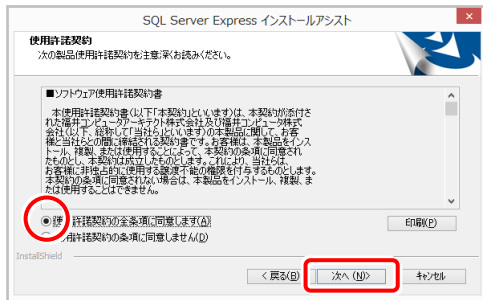
メッセージ例



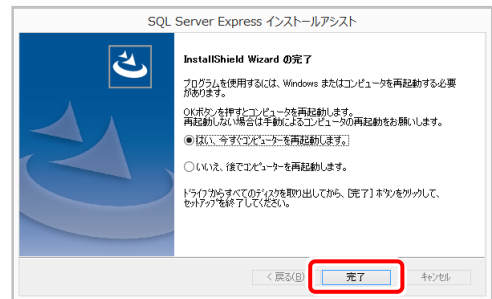
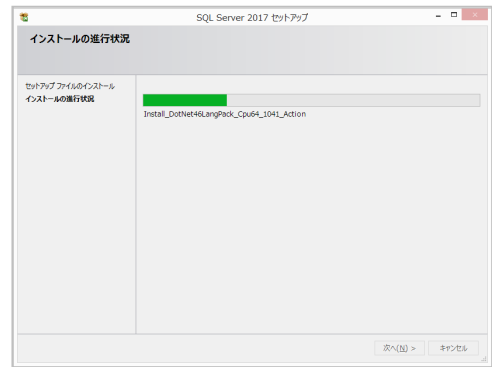
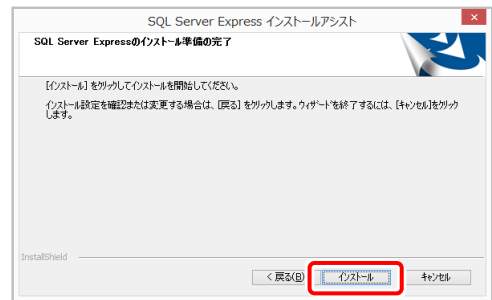
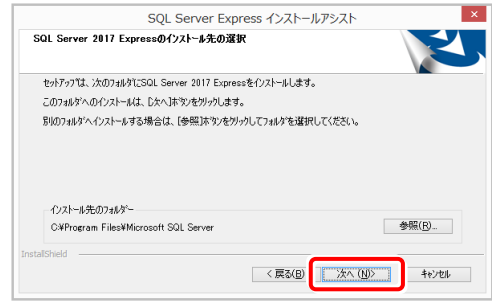
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



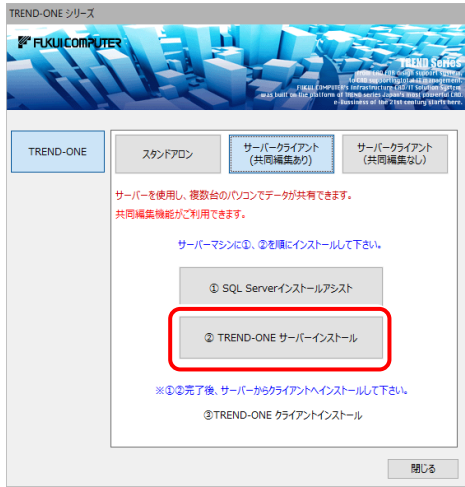
プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



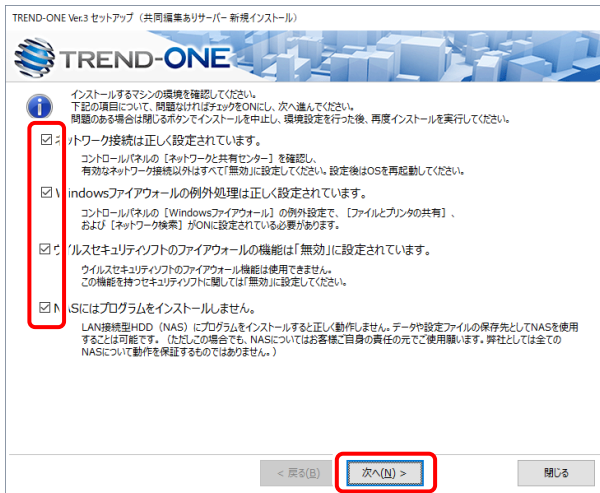
※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ続く)

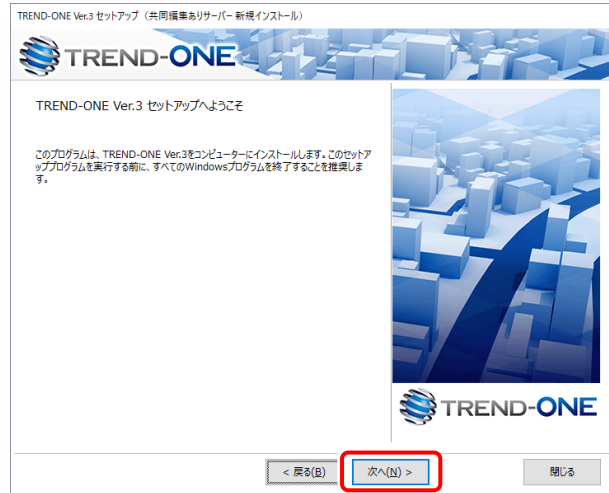
5. サーバーで、セットアップ画面の[② TREND-ONE サーバーインストール]ボタンを押します。



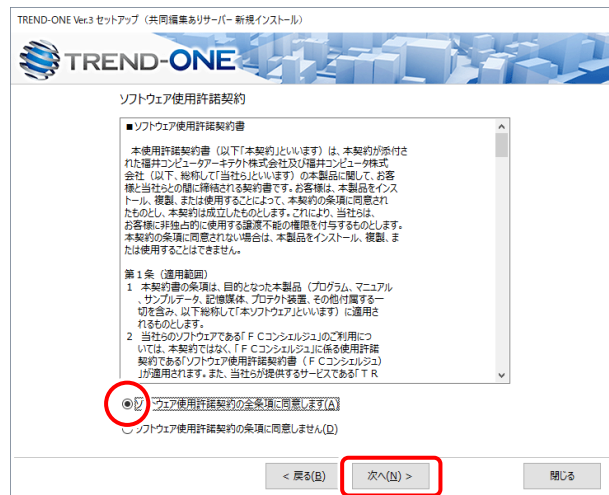
6. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。

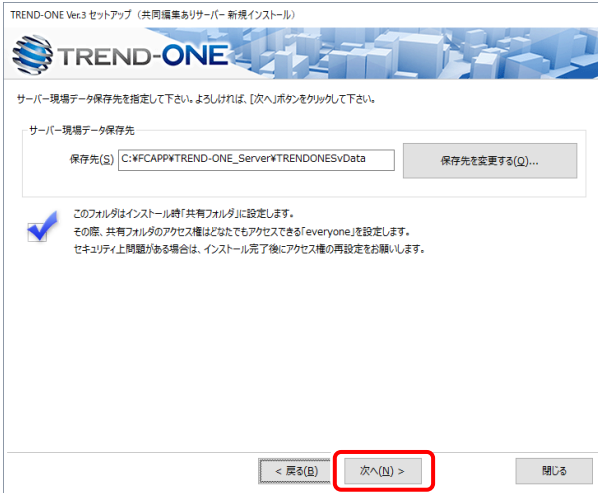


プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。

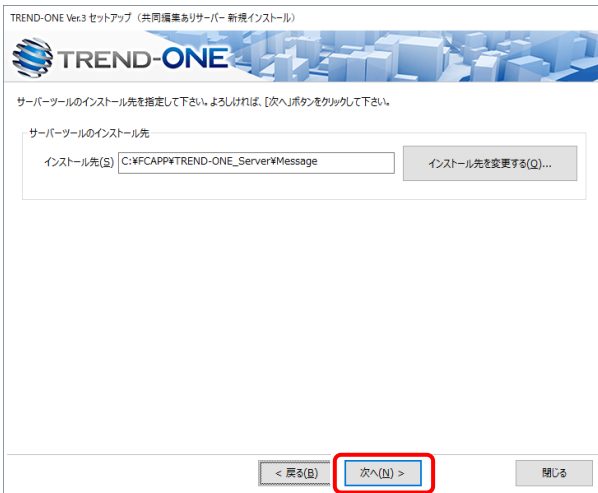


(次ページへ続く)

サーバー現場データの保存先を確認して、[次へ]を押します。



サーバーツールのインストール先を確認して、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

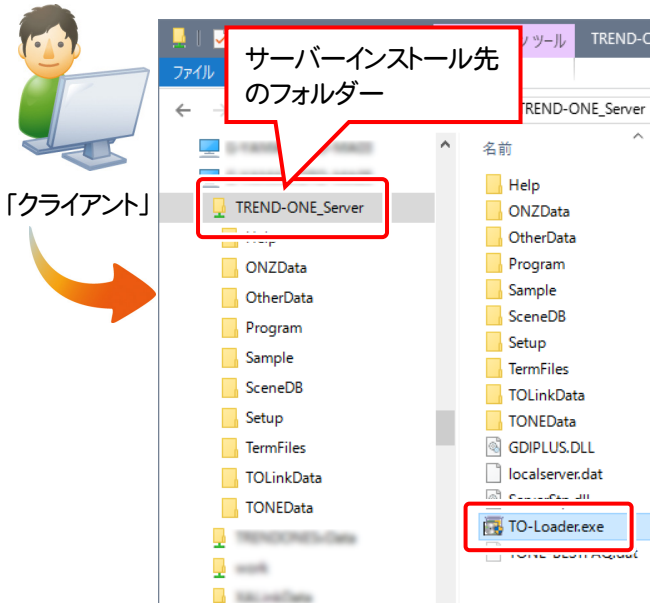
以上で、サーバーのインストールは完了です。

続いて次ページへ進み、クライアントにインストールします。

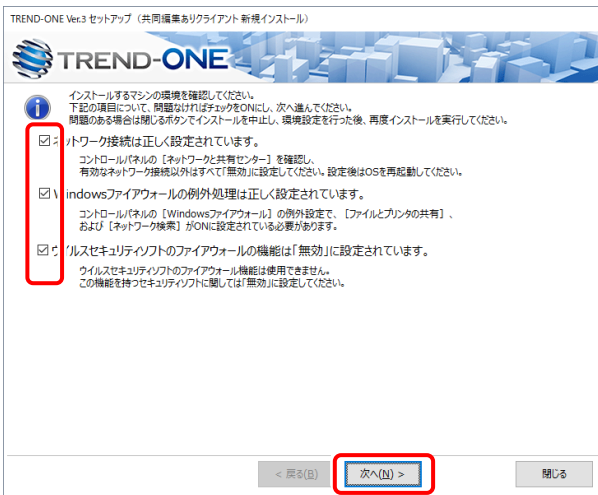
(次ページへ続く)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、「TO-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。

TREND-ONE Ver3 セットアップ (共同編集ありクライアント 新規インストール)

以下の構成でセットアップを行います。よろしければ、[次へ]ボタンをクリックして下さい。

コンピューターの時計 (正しいことを確認して下さい)

2019年04月15日(月) 11時51分 21秒

プロテクト

ネット認証ライセンス(占有) : (インターネット接続タイプ)

インストール先

基本フォルダー(S) C:\¥FCAPP¥TREND-ONE

必ず確認してください。

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する] ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

サーバー名を確認して次へ進みます。

TREND-ONE Ver3 セットアップ (共同編集ありクライアント 新規インストール)

サーバー名が間違っていないか確認して下さい。よろしければ、[次へ]ボタンをクリックして下さい。

サーバー名

サーバー名(S)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。

TREND-ONE Ver3 セットアップ (共同編集ありクライアント 新規インストール)

インストールを開始する準備が整いました。
セットアップ開始をクリックしてインストールを開始して下さい。

- 他のプログラムを全て終了して下さい。
- ノートパソコンの場合、電源アダプターを接続して下さい。
- セットアップ完了まで、ネットワーク接続を切断しないで下さい。
- 「ウイルス対策プログラム」により正しいセットアップが障害される場合があります。
対応方法は「ウイルス対策プログラム」のヘルプを参照するか、管理者へご相談ください。
- USBタイプのプロテクト装置は、パソコンに接続しないで下さい。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。

TREND-ONE Ver3 セットアップ (共同編集ありクライアント 新規インストール)

インストール作業が完了しました。

ウイルスセキュリティソフトについては別途注意事項があります。
下記をよくご覧いただいた上で、対応をお願いします。

Adobe Readerがインストールされている必要があります。

TREND-ONEをご利用いただき、誠にありがとうございます。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows10）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

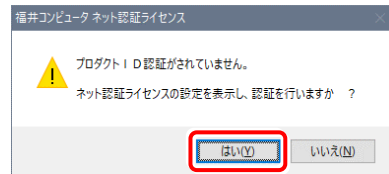
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

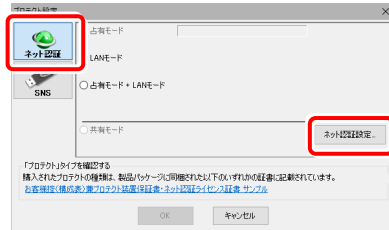
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス(占有)の認証をおこないます。

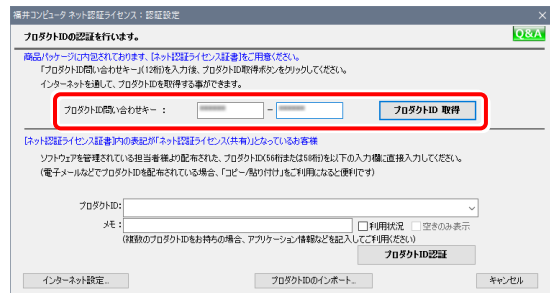


[プロダクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

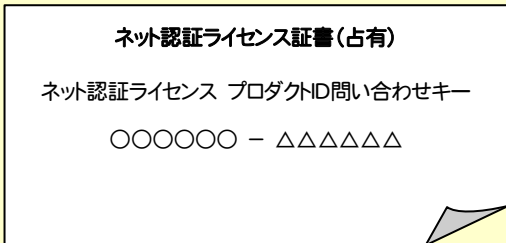


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

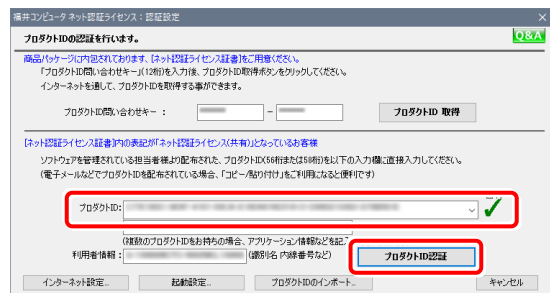
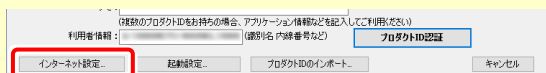
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

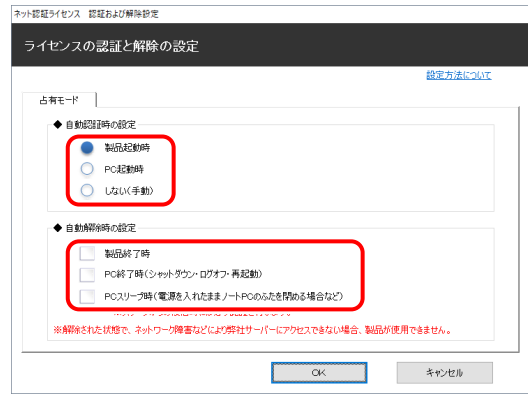
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



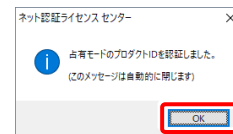
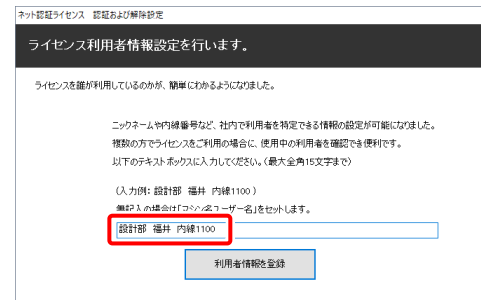
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

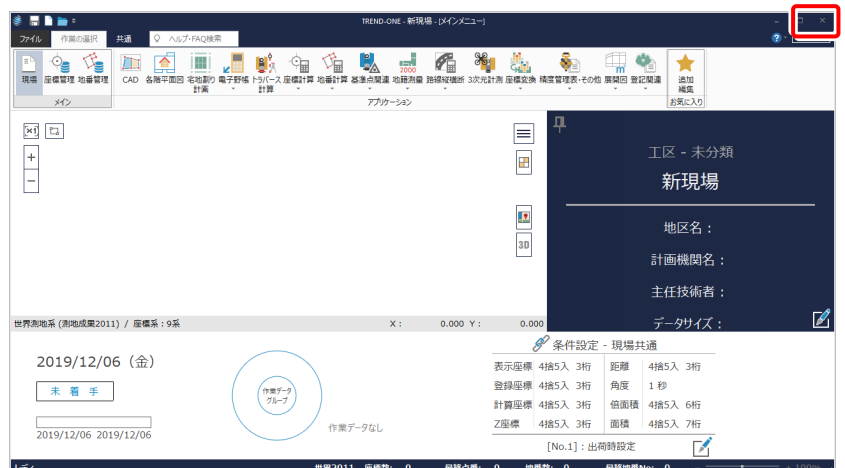
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6

データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows7）でバックアップしたTREND-ONEの「サーバー現場データ」、「ローカル現場データ」、「全設定」を、新パソコン（Windows10）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

6-1 「サーバー現場データ」をリストア（復元）する

「サーバー現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに「サーバー現場データ」をリストア（復元）する手順です。

「サーバー現場データのリストア（復元）」は、サーバーでおこないます。

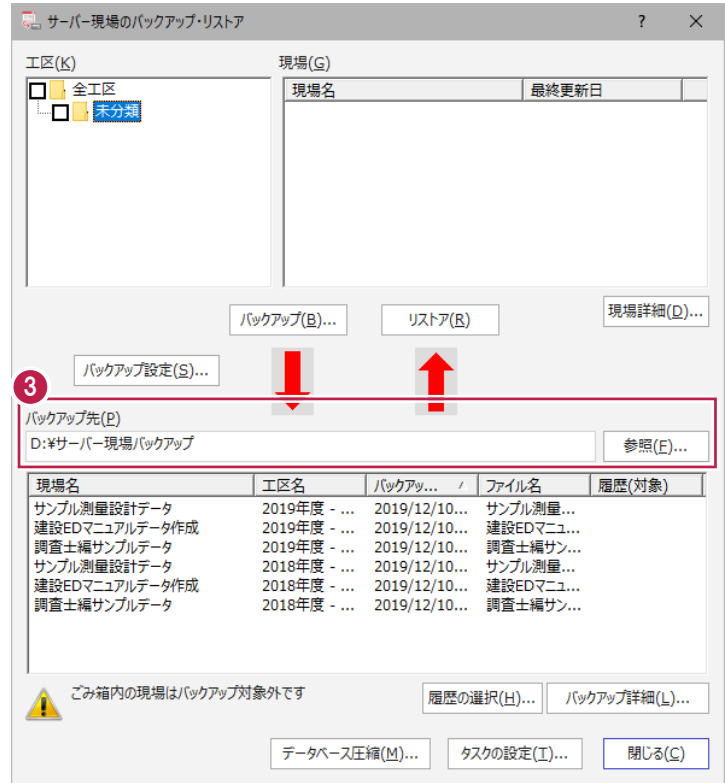
- 1 サーバーに、「サーバー現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 サーバーのデスクトップにある
[TREND-ONE バックアップツール]
をダブルクリック、または
[スタートメニュー] -
[FukuiComputerApplication] -
[バックアップツール]
をクリックして、「サーバーバックアップツール」を
起動します。



- 3 [バックアップ先] で、「サーバー現場データ」のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



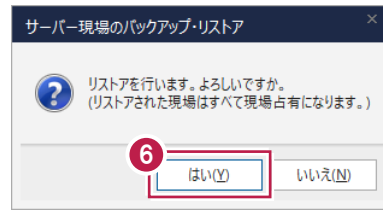
- 4 一番上の現場データをクリックした後、「Shift」キーを押しながら、一番下の現場データをクリックして、現場データをすべて選択します。



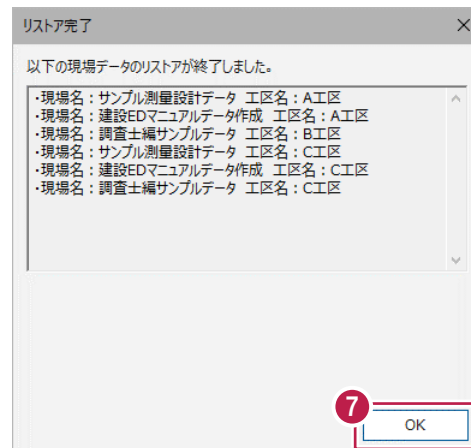
- 5 [リストア] をクリックします。



- 6 [はい] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。



- 7 リストアが終了したら、[OK] をクリックします。



- 8 リストア（復元）された「工区」と「現場」を確認します。



- 9 [閉じる] をクリックして、「サーバーバックアップツール」を終了します。

以上で「サーバー現場データのリストア（復元）」は完了です。

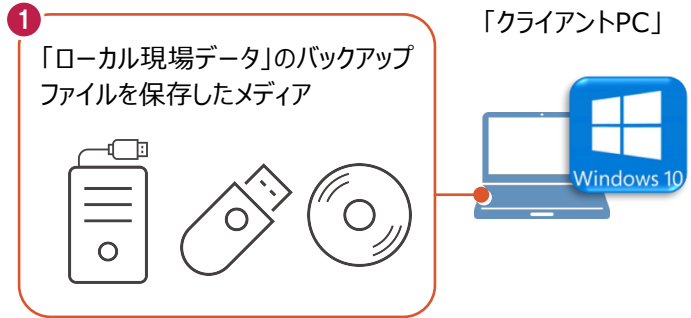
6-2 「ローカル現場データ」をリストア（復元）する

「ローカル現場」のバックアップファイルを使用して、クライアントPCのローカル現場データをリストア（復元）する手順です。
 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「ローカル現場データのリストア（復元）」は、すべてのクライアントPCでおこないます。

※ただし、ローカル現場を持たないPCでは、必要ありません。

- 1 クライアント PC に、「ローカル現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ [表示モード] グループ [ローカル現場] をクリックします。



- 3 [読込] タブ [リストア] グループ [現場] をクリックします。

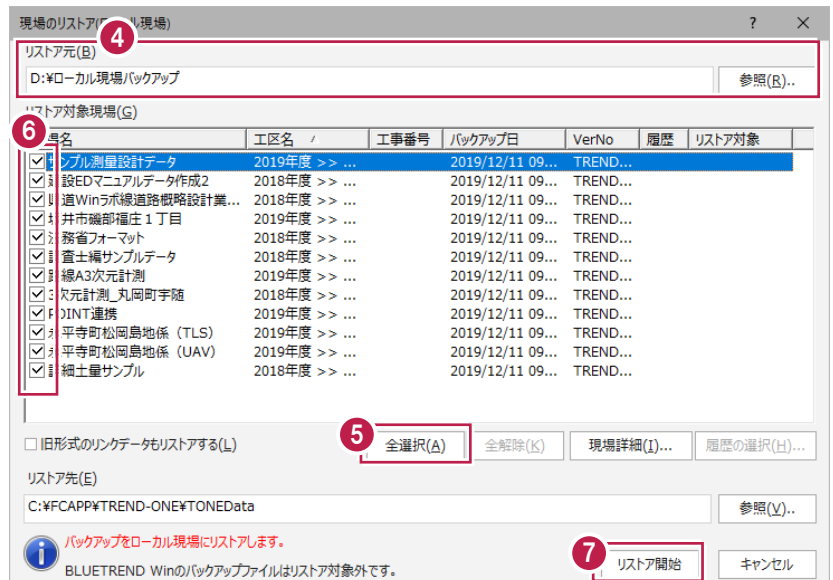


- 4 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

- 5 [全選択] をクリックします。

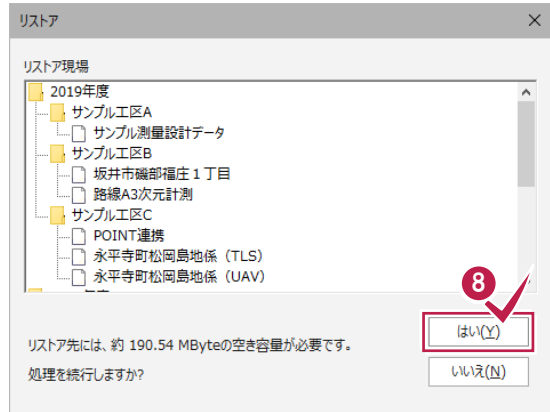
- 6 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 7 [リストア開始] をクリックします。



8 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

以上で「ローカル現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-3 サーバの「全設定」をリストア（復元）する

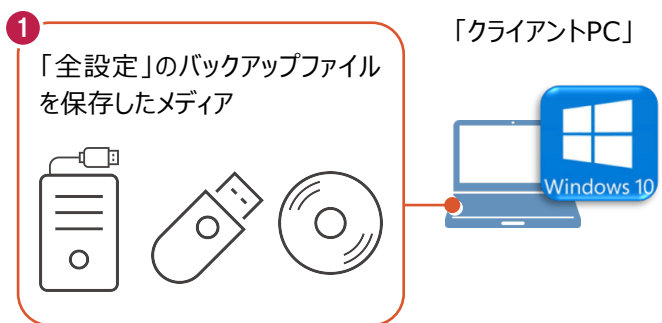
「全設定」のバックアップファイルを使用して、サーバの全設定をリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「サーバの全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

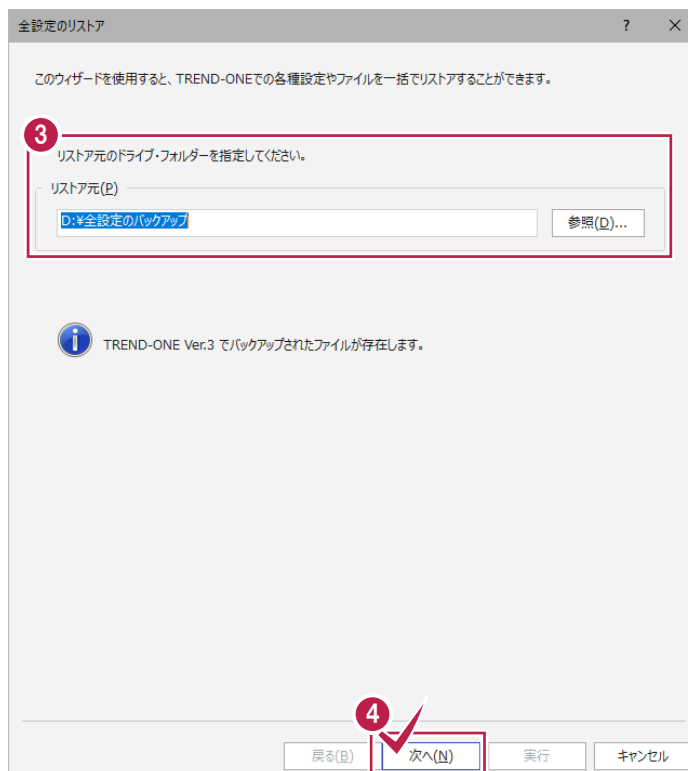
- 1 いずれか 1 台のクライアント PC に、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ [リストア] グループ [全設定] をクリックします。

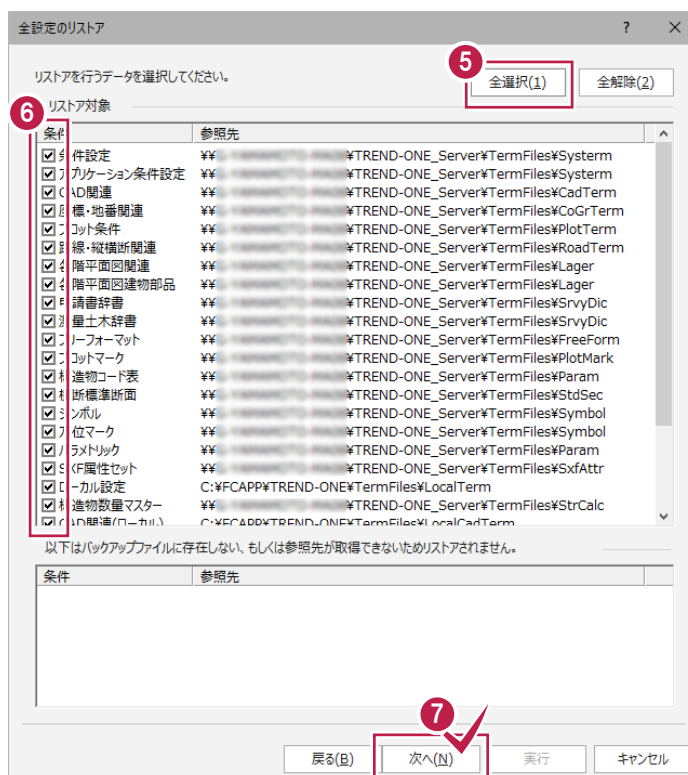


- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- 4 [次へ] をクリックします。

- 5 [全選択] をクリックします。



- 6 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 7 [次へ] をクリックします。

- 8 [実行] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。

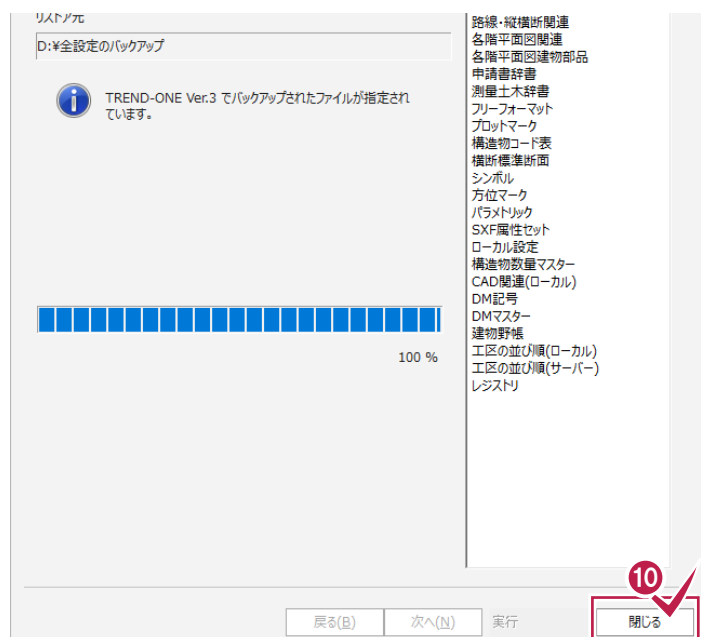


- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックします。

以上でサーバーの「全設定のリストア（復元）」は完了です。

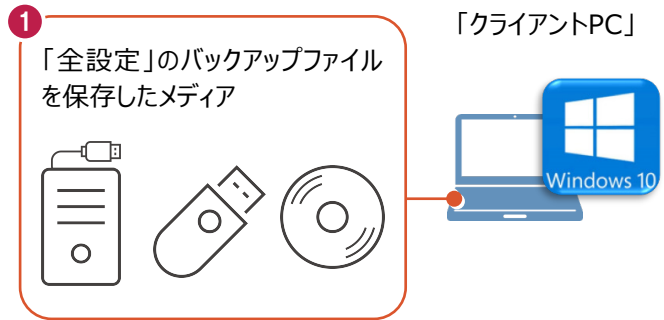


6-4 クライアントPCの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、各クライアントPCに保存される設定（レジストリなど）をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は、すべてのクライアント PC でおこないます。

- 1 クライアント PC に、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ [表示モード] グループ [ローカル現場] をクリックします。



- 3 [読込] タブ [リストア] グループ [全設定] をクリックします。



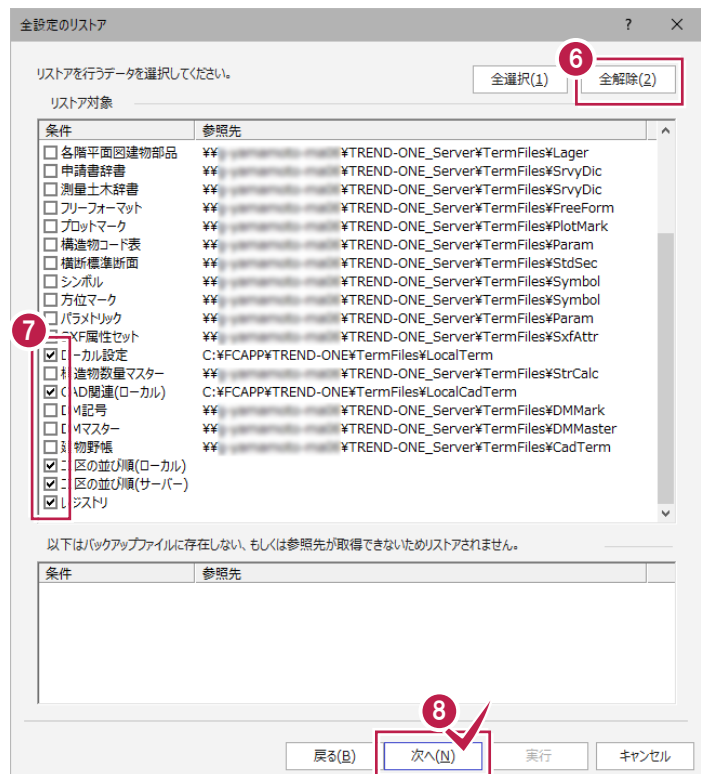
- 4 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



5 [次へ] をクリックします。



6 [全解除] をクリックします。



7 以下の条件のチェックのみ、「オン」にします。

- ・ ローカル設定
- ・ CAD 関連（ローカル）
- ・ 工区の並び順（ローカル）
- ・ 工区の並び順（サーバー）
- ・ レジストリ

8 [次へ] をクリックします。

- 9 [実行] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。

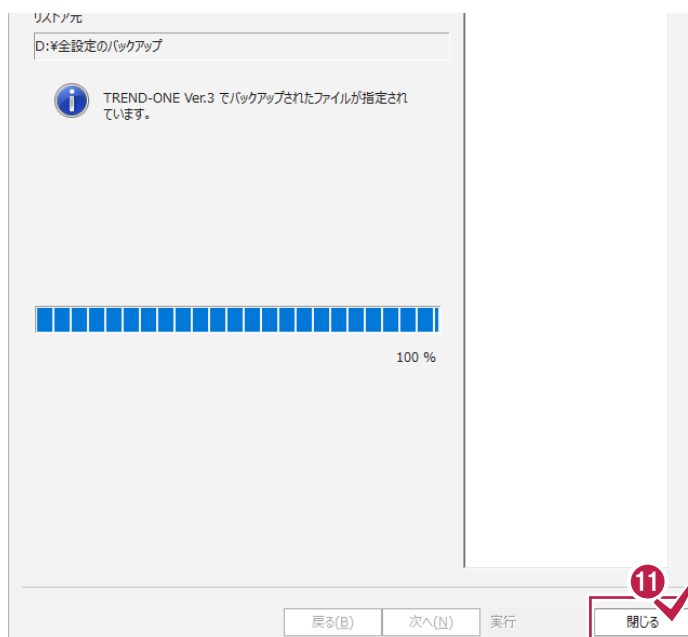


- 10 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 11 [閉じる] をクリックします。

以上で「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は完了です。





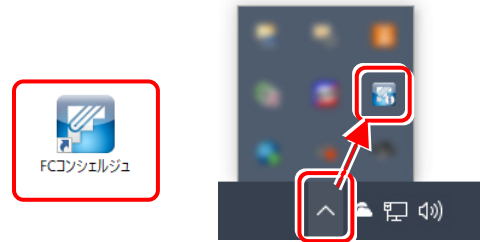
7

セキュリティソフトの除外設定

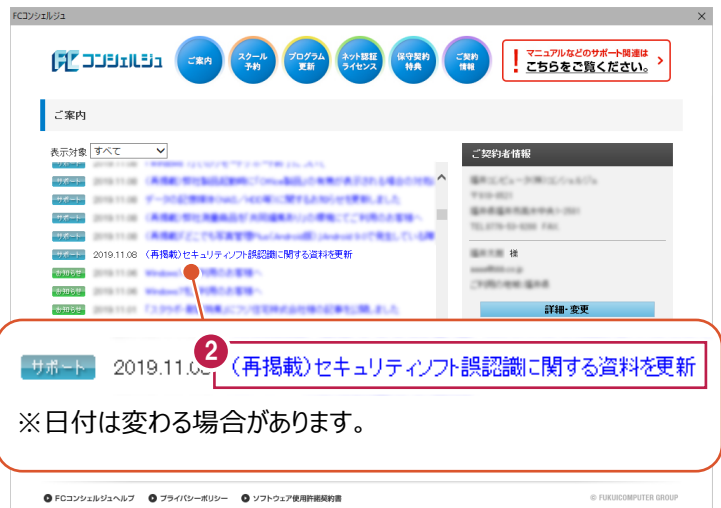
セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

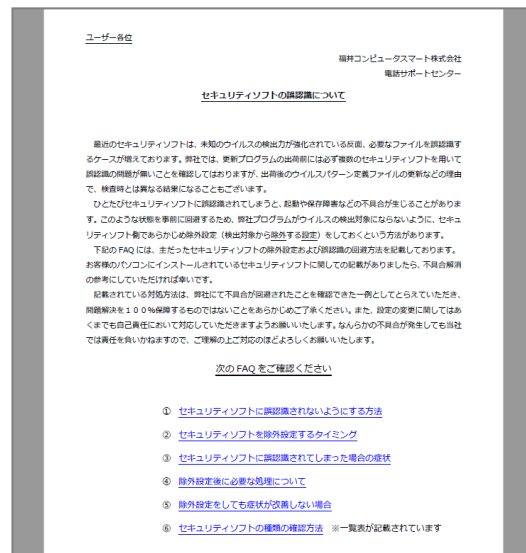
- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC コンシェルジュ」を起動します。



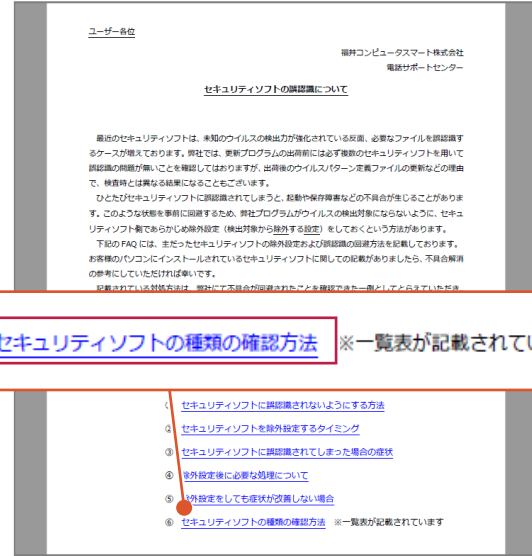
- 2 FC コンシェルジュの「ご案内」にある「（再掲載）セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新」をクリックします。
（※ご案内の日付は変わる場合があります。）



- 3 「セキュリティソフトの誤認識について」の PDF が開きます。内容を確認してください。



4 「⑥ セキュリティソフトの確認方法」をクリックします。



5 セキュリティソフトの FAQ が表示されます。

「製品別手順書」で、お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

FUKUI COMPUTER 起動関連

検索したい語句を入力してください。

起動関連 > セキュリティソフト

プログラム名	起動関連	Ver.	-	ID	SYS0028	更新日	2019/11/22
<p>Q: 自分のPCに入っているセキュリティソフトの種類はどのようにして確認できますか。</p> <p>A: デスクトップや通知領域のアイコン、スタートメニューのプログラム名などでご確認ください。 次の一覧より、各セキュリティソフトの除外設定手順に進めます。</p>							

5

販売元	製品別手順書
トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTレッツウイルスクリア・セキュリティ対策ツールはこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)
シマンテック (ノートン) シマンテック	ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ マイクロソフト ディフェンダー Windows セキュリティセンター
ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
カスペルスキー	インターネット セキュリティ (アンチウイルス) ※@Niftyの常時安全セキュリティ24はこちら エンドポイント セキュリティ
マカフィー	リブセーフ インターネットセキュリティ Ver.16

- ㄨㄚ -

新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集なし）用



Windows7 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

サーバクライアント（共同編集なし）用



Windows7での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows7）のTREND-ONEで、「現場データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 現場データをバックアップする

現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のバックアップは、いずれか1台のクライアント PC でおこないます。

サーバーに保存されている「現場データ」をバックアップします。すべてのクライアントPCでおこなう必要はありません。

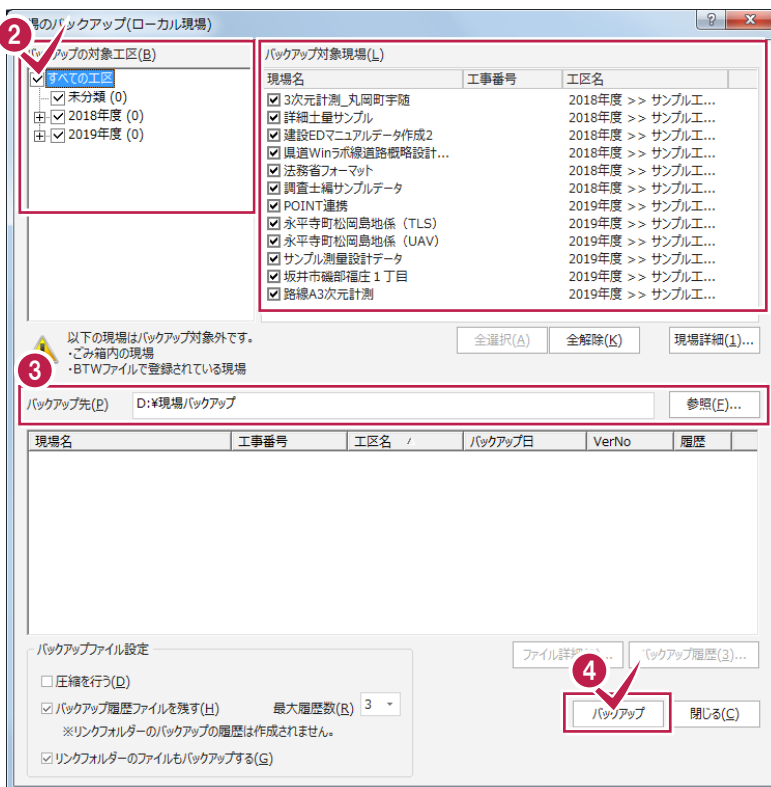
※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理を起動して、[書込] タブ
[バックアップ] グループ - [現場] をクリック
します。



- 2 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- 3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 4 [バックアップ] をクリックします。



1

2



3

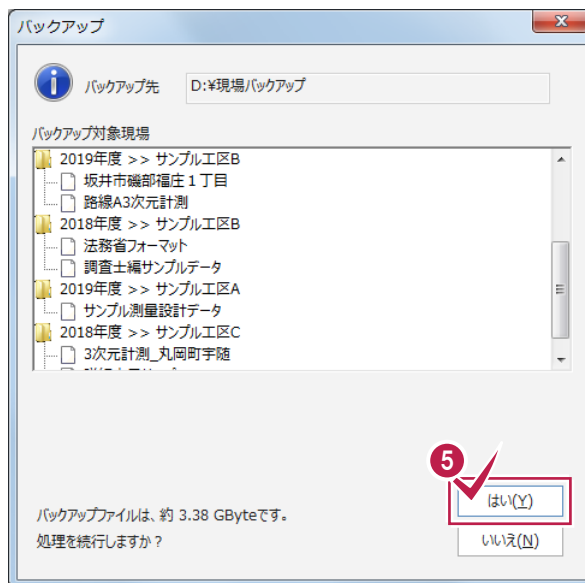
4

5

6

7

- 5 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

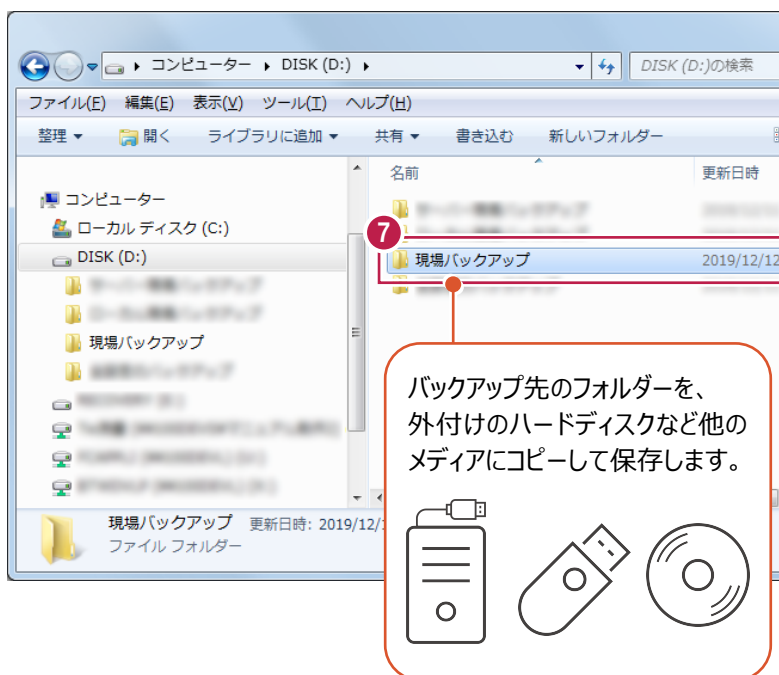


- 6 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 7 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「現場データのバックアップ」は完了です。



1-2 全設定をバックアップする

サーバーと各クライアントPCに保存されている全設定をバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

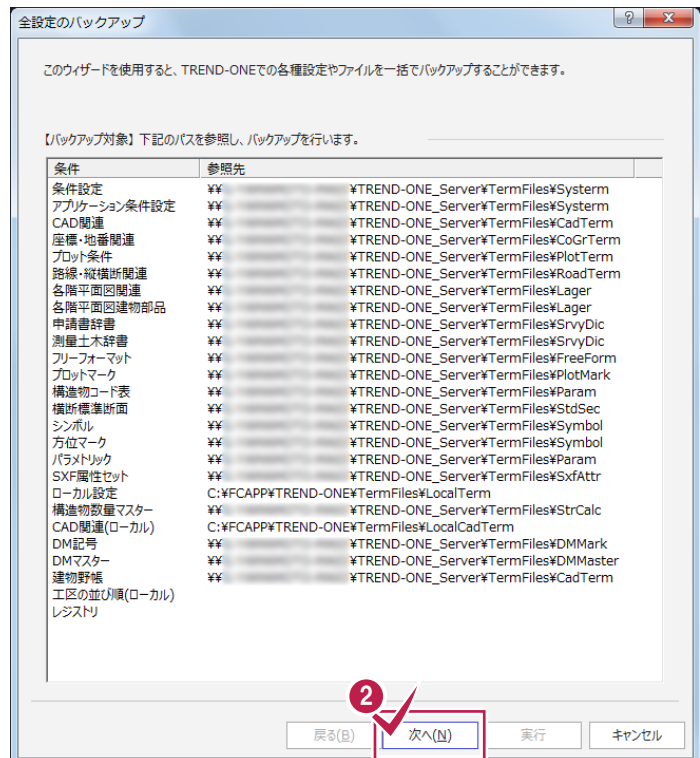
「全設定」のバックアップは、すべてのクライアント PC でおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- ① 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。



- ② バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。





1

2



3

4

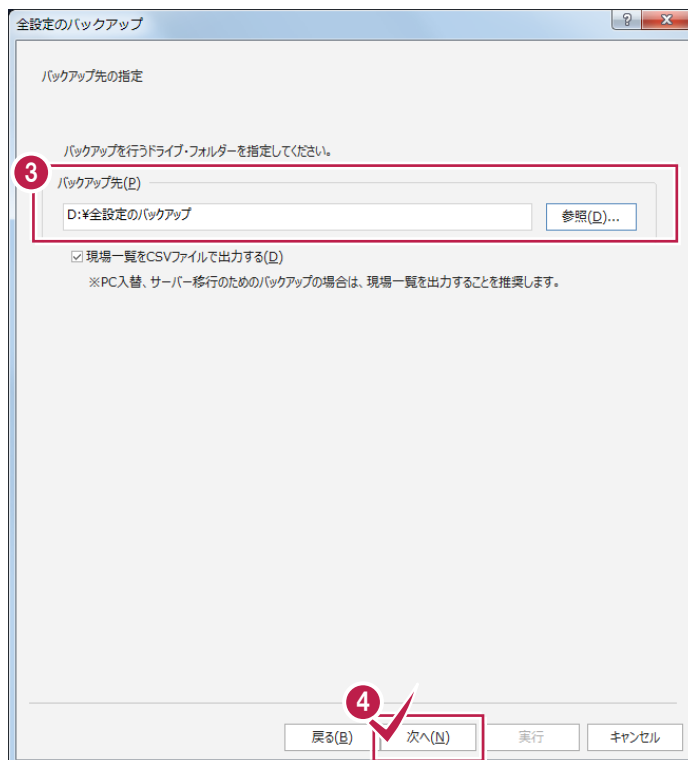
5

6

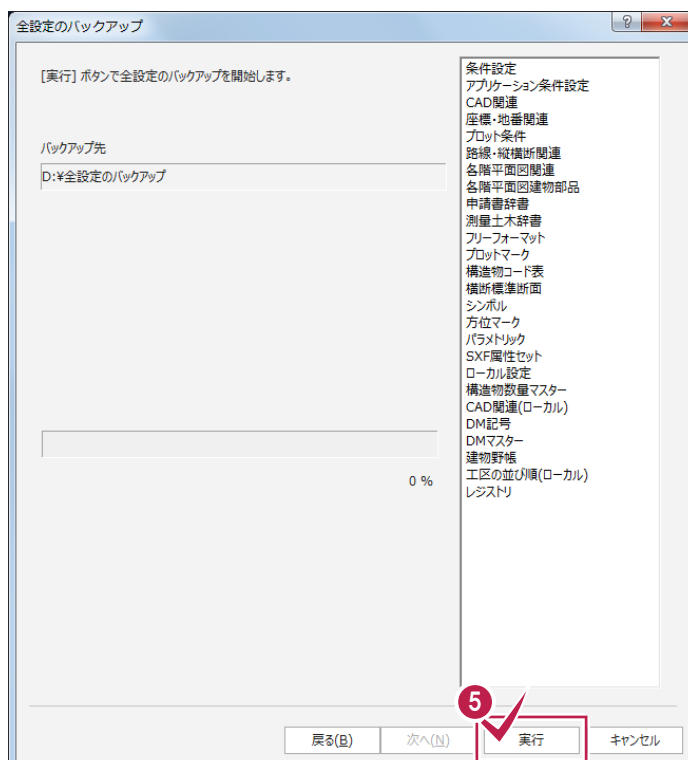
7

③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

④ [次へ] をクリックします。



⑤ [実行] をクリックします。





1

2



3

4

5

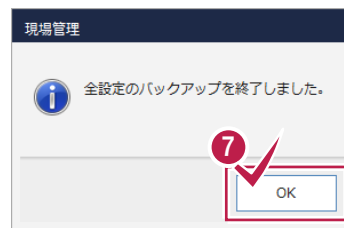
6

7

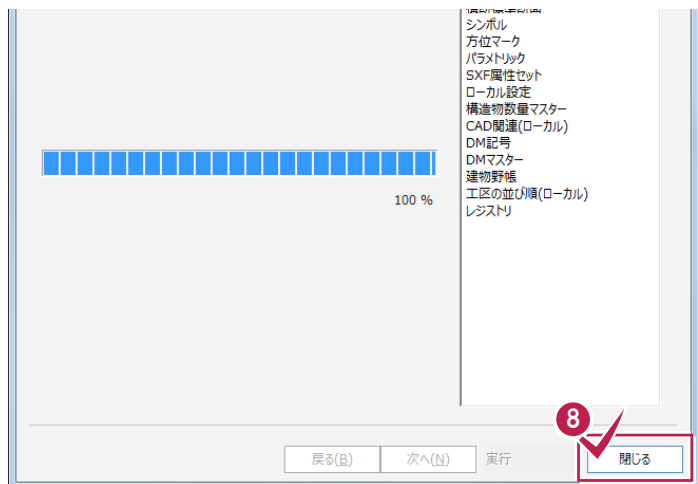
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

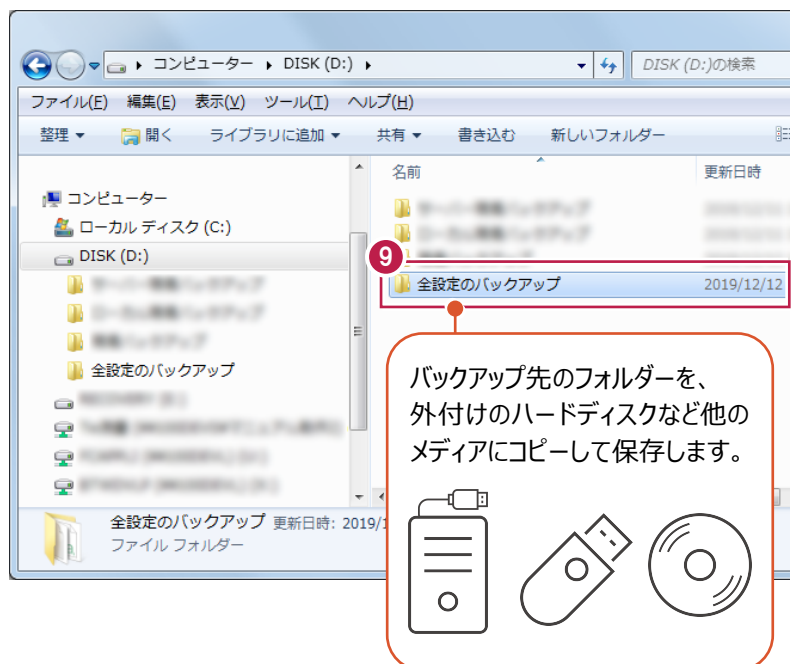


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。



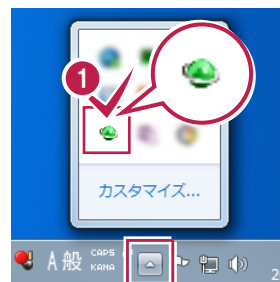


2 ライセンスの解除

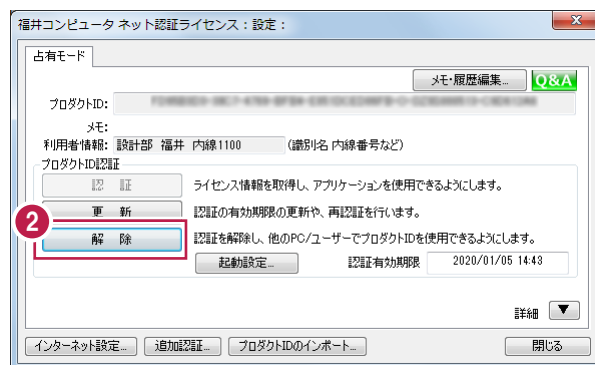
旧パソコン（Windows7）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows10）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

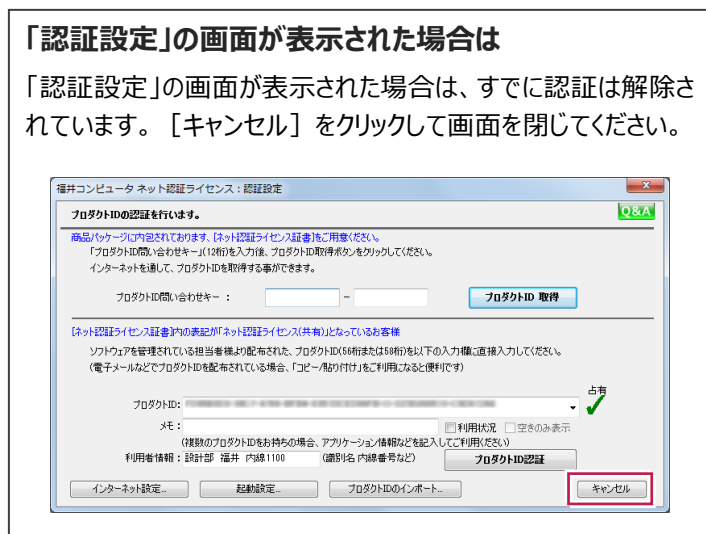


- ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。



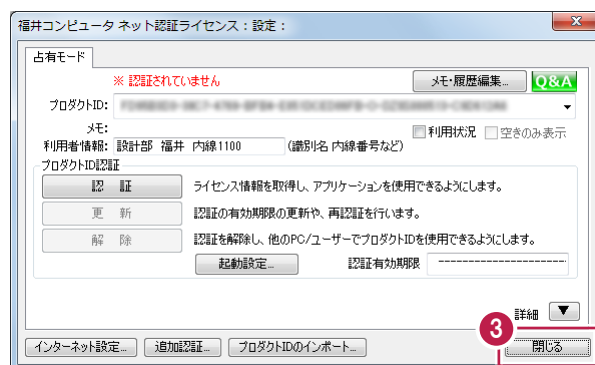
「認証設定」の画面が表示された場合は

「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。



サーバクライアント（共同編集なし）用



Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3

FC コンシェルジュのインストール

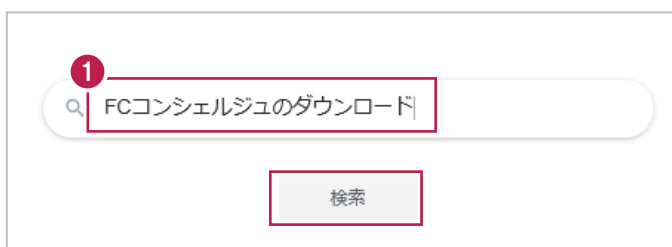
新パソコン（Window10）に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCコンシェルジュ」をインストールします。

3-1 FCコンシェルジュをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCコンシェルジュ」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC コンシェルジュのダウンロード」を検索します。



- 2 検索結果の「各種ダウンロード | 土木 CAD-福井コンピュータ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

<https://const.fukuicompu.co.jp/user/download.html>

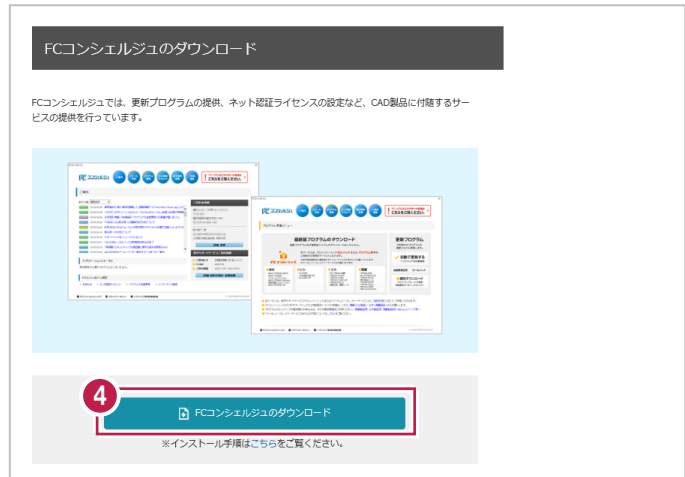


- 3 弊社 WEB サイトの「各種ダウンロード」ページが表示されます。

画面を下にスクロールします。

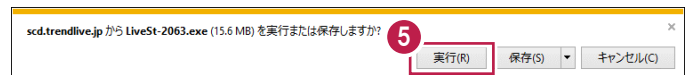


④ 「FC コンシェルジュのダウンロード」をクリックします。



⑤ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「実行」を押します。

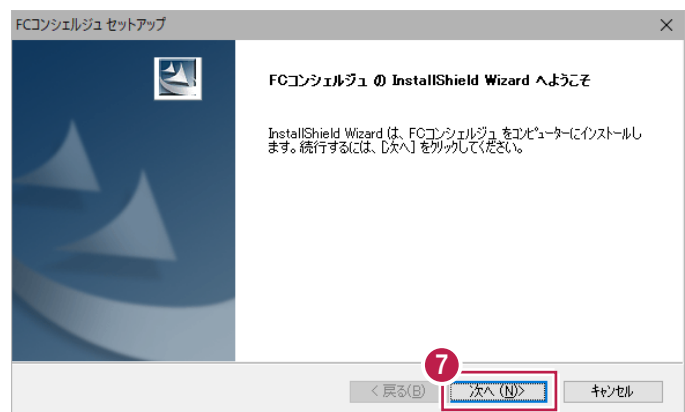
※PC に保存してから実行しても構いません。



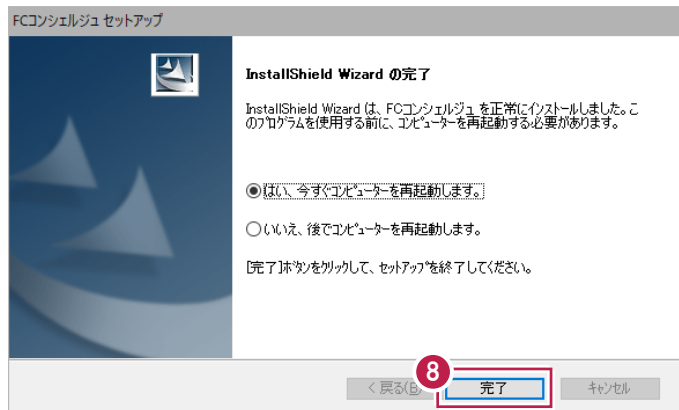
⑥ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



⑦ FC コンシェルジュのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



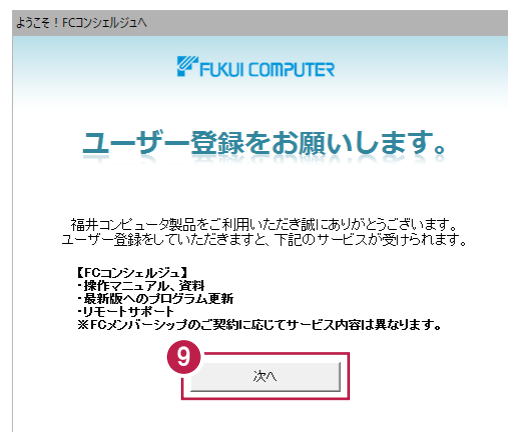
- 8 FC コンシェルジュのインストールを終えたら、コンピューターを再起動します。



- 9 コンピューターを再起動すると、FC コンシェルジュが起動します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。

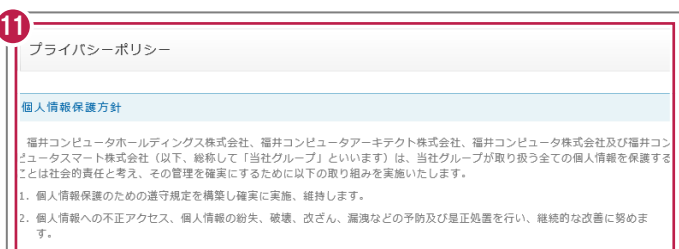
- ※ 最新プログラムのダウンロードなど、FC コンシェルジュの各種サービスを利用するには、ユーザー登録が必要です。



- 10 [プライバシーポリシー] をクリックします。



- 11 表示される [プライバシーポリシー] を最後まで熟読した後、画面を閉じます。



- 12 [プライバシーポリシーを承諾して次へ] をクリックします。



- 13 お客様の「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して、[次へ] をクリックします。



補足 ユーザー登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。

●製品に同封されているネット認証
ライセンス証書

ユーザーコード	009999
ユーザー名	福井コト
製品シリアル番号	*****

●プロテクト裏面のシール

ユーザコード：半角数字6桁もしくは7桁

製品シリアルNo.：半角英数字10桁

または

- 14 「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力し、
「登録する」をクリックします。



- 15 ユーザー登録を終えると、FC コンシェルジュが起動します。

以上で、「FC コンシェルジュのインストール」は完了です。

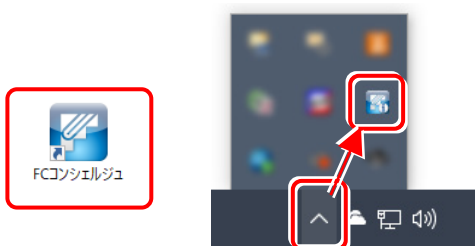




4 TREND-ONE のインストール

新パソコン（Windows10）にインストールしたFCコンシェルジュを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を開きます。



上部の[プログラム更新]をクリックします。



「更新プログラムのダウンロード」画面が表示されます。
[測定]をクリックします。



[ネット認証プロテクトをご利用のお客様]をクリックします。

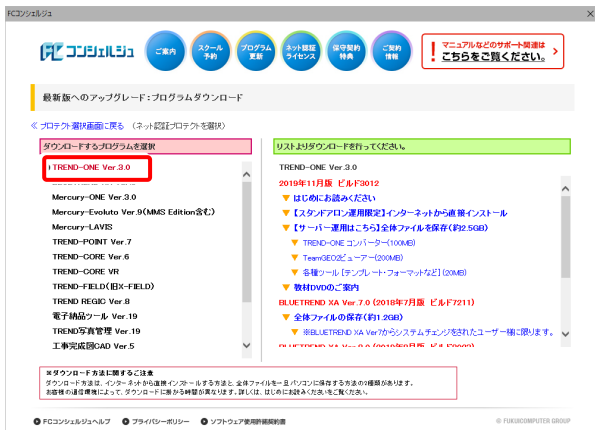


[次へ：最新版プログラムのダウンロード画面へ]をクリックします。

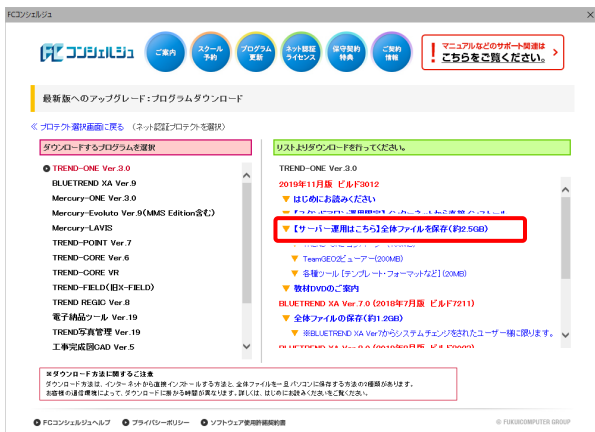


(次ページへ続く)

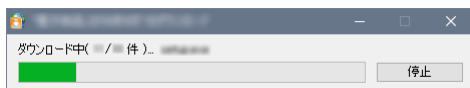
左の一覧で、[TREND-ONE]を選択します。



[[【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存] をクリックします。



ダウンロードが開始されます。



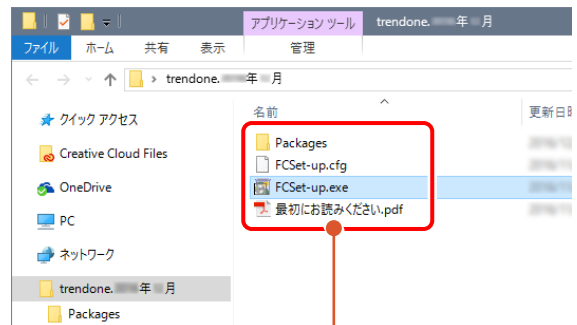
※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

2. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

[閉じる]をクリックして画面を閉じます。



3. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなどのメディアにコピーして保存します。



外付けのハードディスクなどのメディアにコピーして保存します。

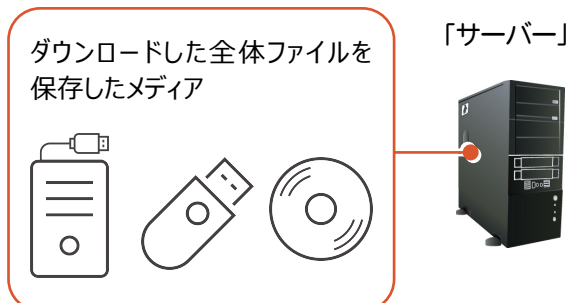


以上で、全体ファイルの保存は完了です。

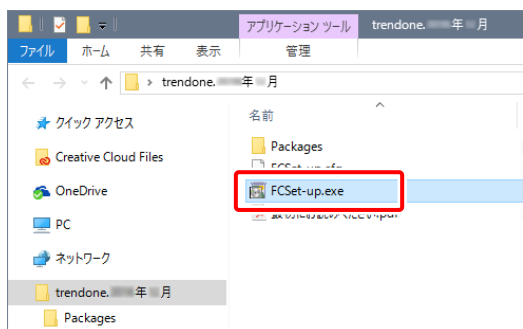
続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

まず、サーバーにプログラムをインストールします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



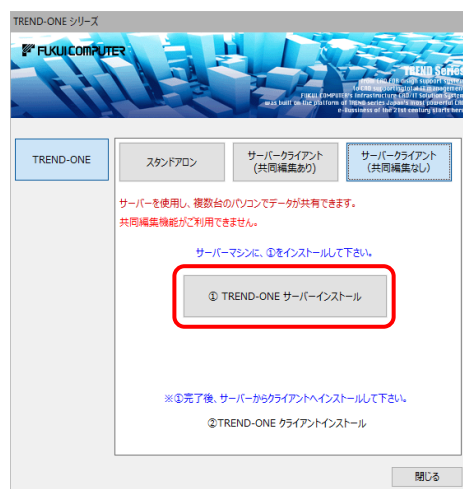
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバクライアント(共同編集なし)]タブを選択します。

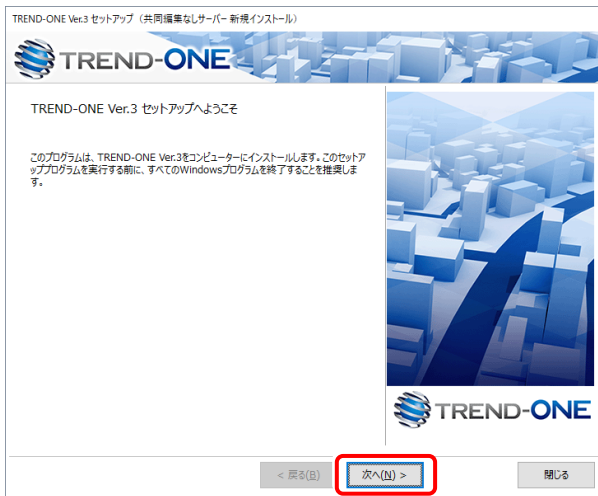


[① TREND-ONE サーバーインストール]ボタンを押します。

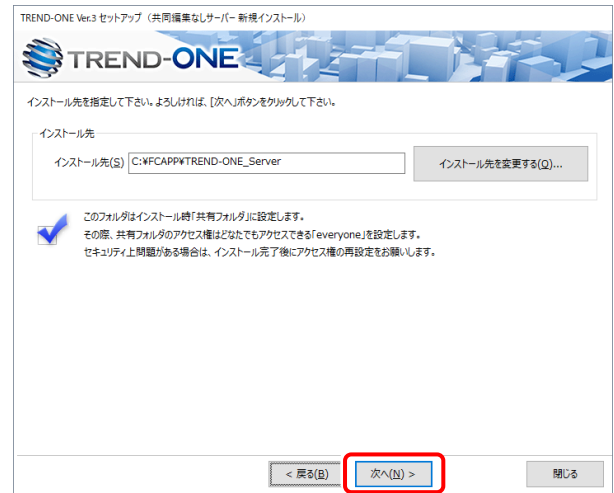


(次ページへ続きます)

4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



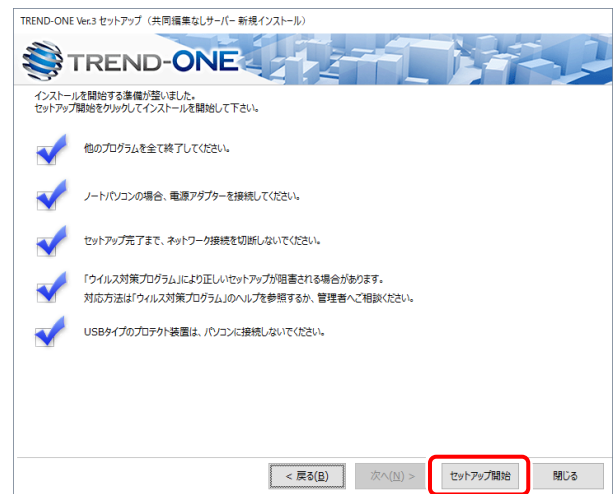
プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。

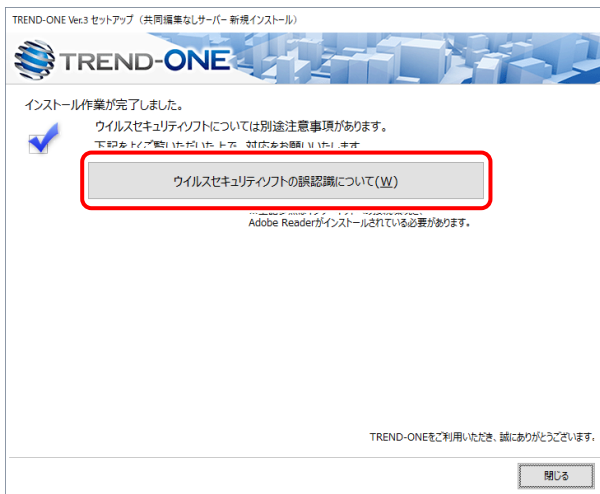


内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

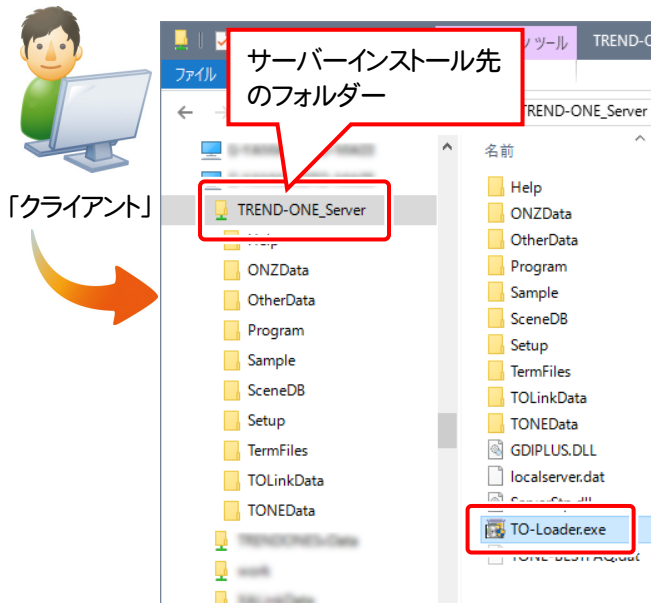
確認を終えたら、[閉じる]を押します。



(次ページへ続きます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

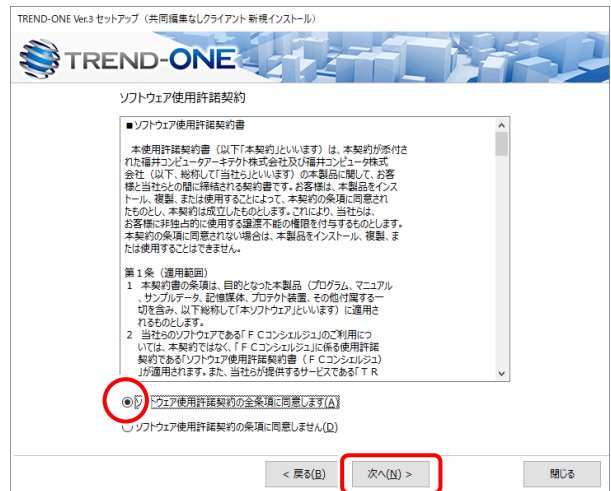
1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、“TO-Loader.exe”を実行します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



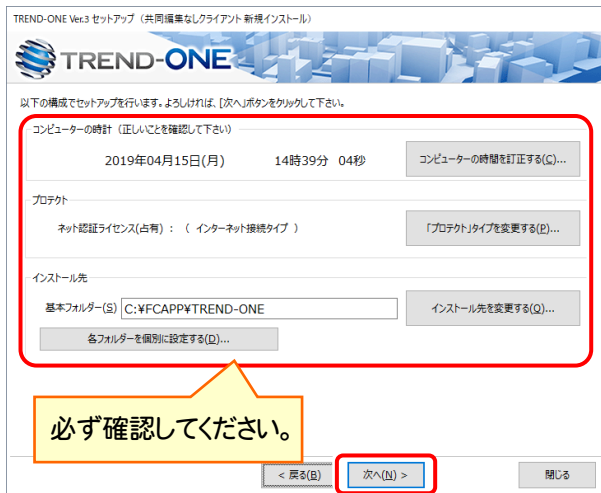
- [ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows10）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

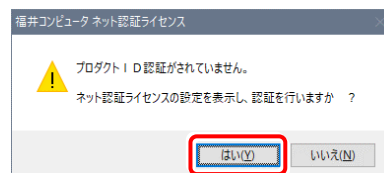
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

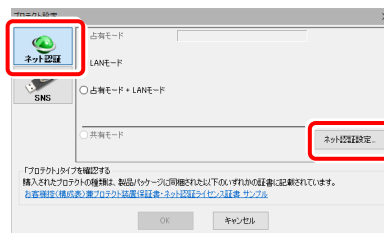
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス(占有)の認証をおこないます。

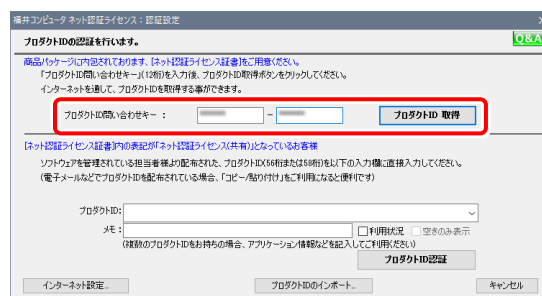


[プロダクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

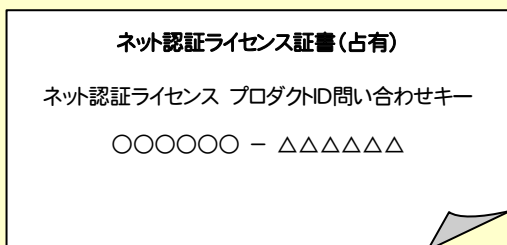


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

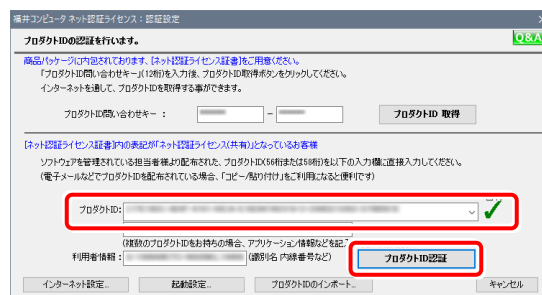
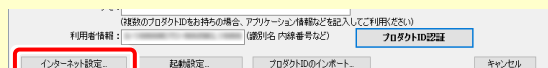
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と
 「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



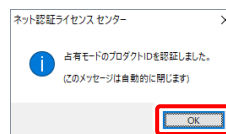
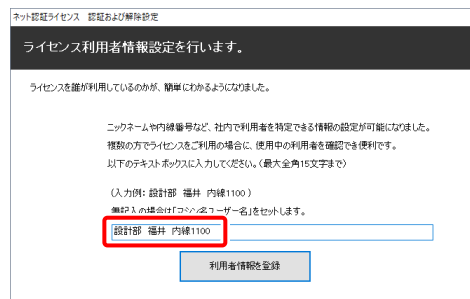
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

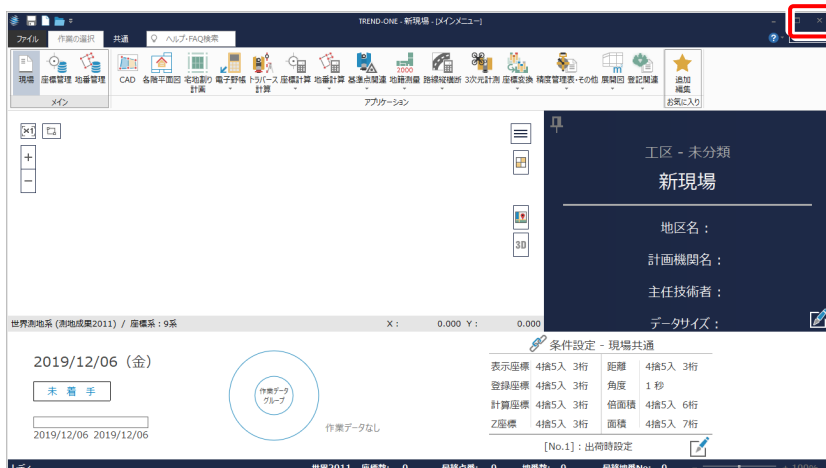
【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。
 ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6

データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows7）でバックアップしたTREND-ONEの「現場データ」と「全設定」を、新パソコン（Windows10）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

Windows10での作業

6-1 「現場データ」をリストア（復元）する

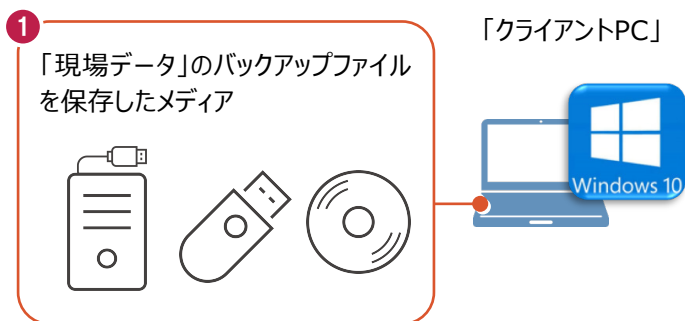
「現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに現場データをリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のリストア（復元）は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。

サーバーに「現場データ」をリストア（復元）します。すべてのPCでおこなう必要はありません。

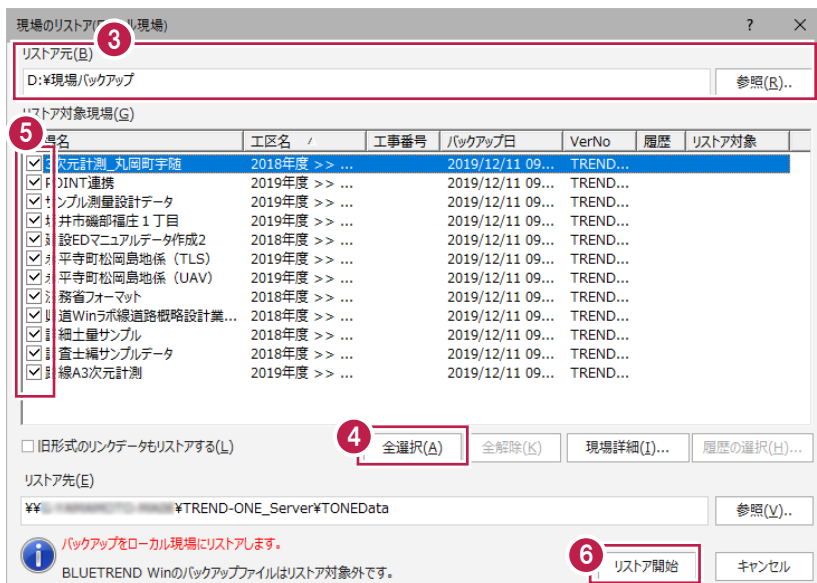
- 1 いずれか1台のクライアントPCに、「現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ → [リストア] グループ → [現場] をクリックします。



- 3 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



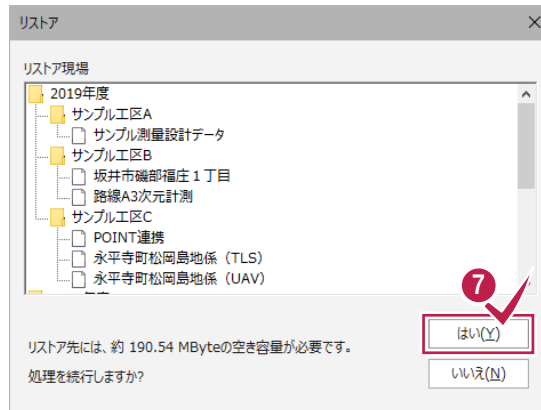
- 4 [全選択] をクリックします。

- 5 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 6 [リストア開始] をクリックします。

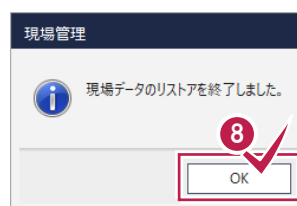
7 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



8 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

以上で「現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-2 サーバーの「全設定」をリストア（復元）する

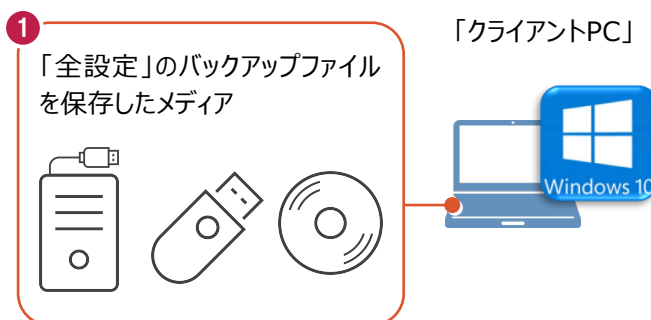
「全設定」のバックアップファイルを使用して、サーバーの全設定をリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「サーバーの全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

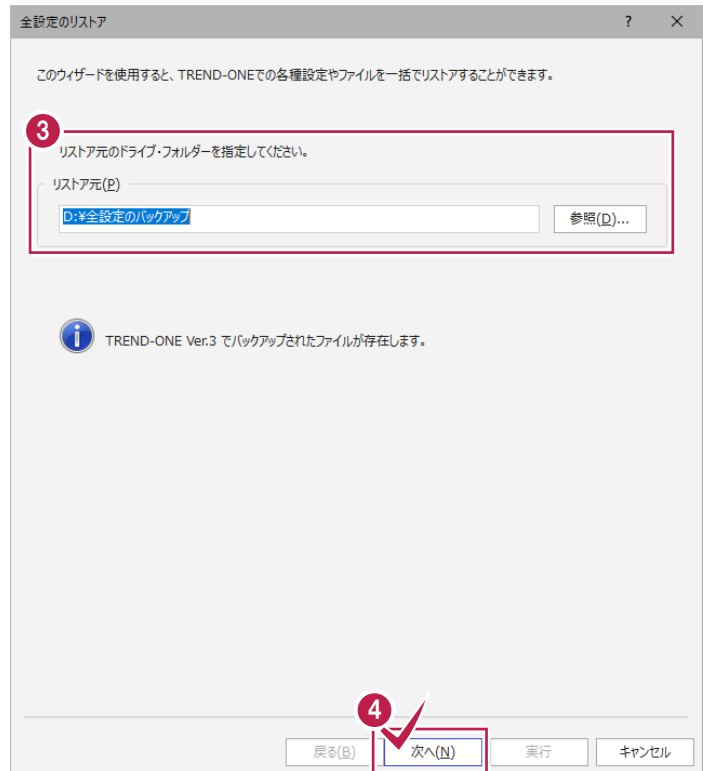
- 1 いずれか1台のクライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。



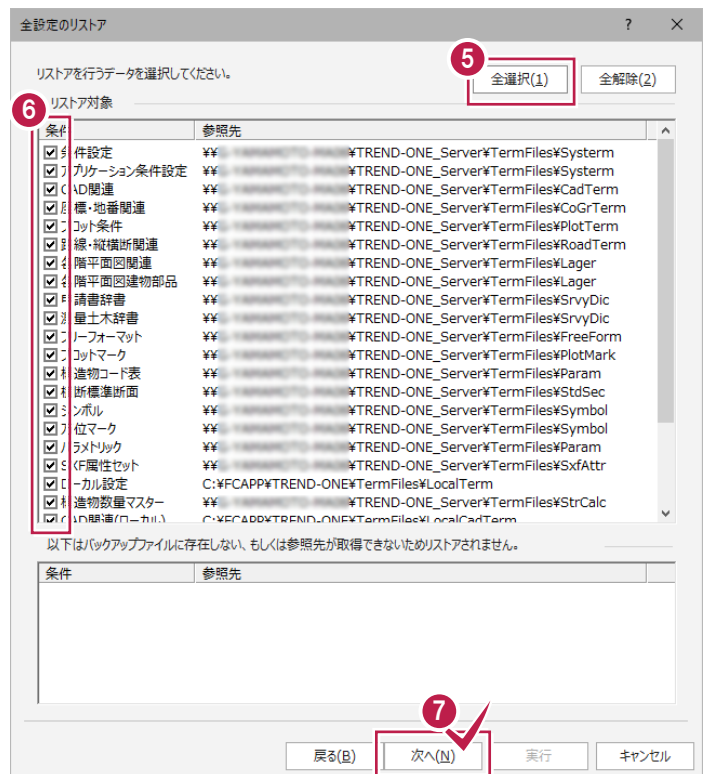
- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- 4 [次へ] をクリックします。

- 5 [全選択] をクリックします。

- 6 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

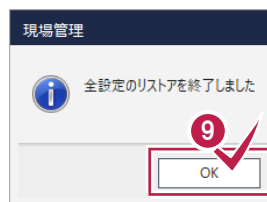


- 7 [次へ] をクリックします。

- 8 [実行] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。

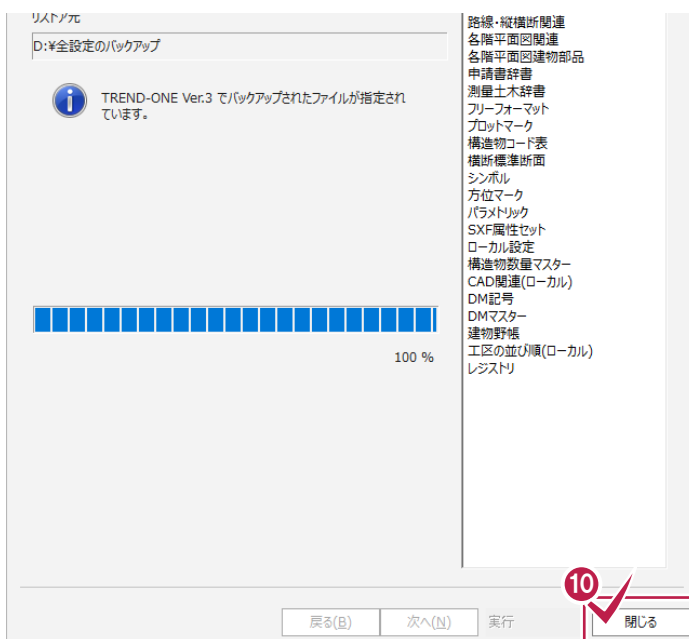


- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックします。

以上で「サーバーの全設定のリストア（復元）」は完了です。

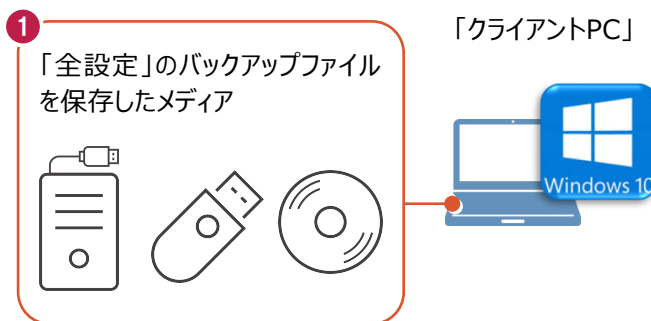


6-3 クライアントPCの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、各クライアントPCに保存される設定（レジストリなど）をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は、すべてのクライアント PC でおこないます。

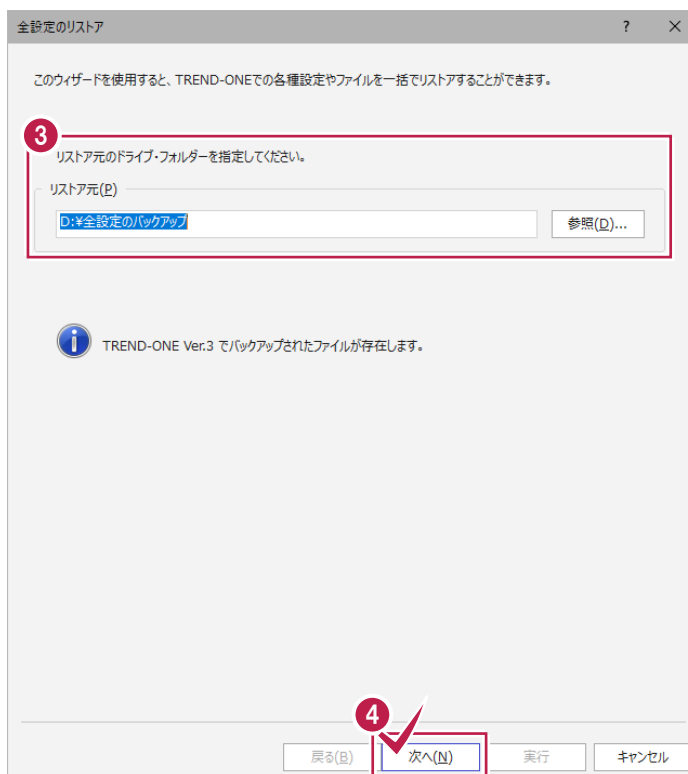
- 1 クライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ → [リストア] グループ → [全設定] をクリックします。



- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



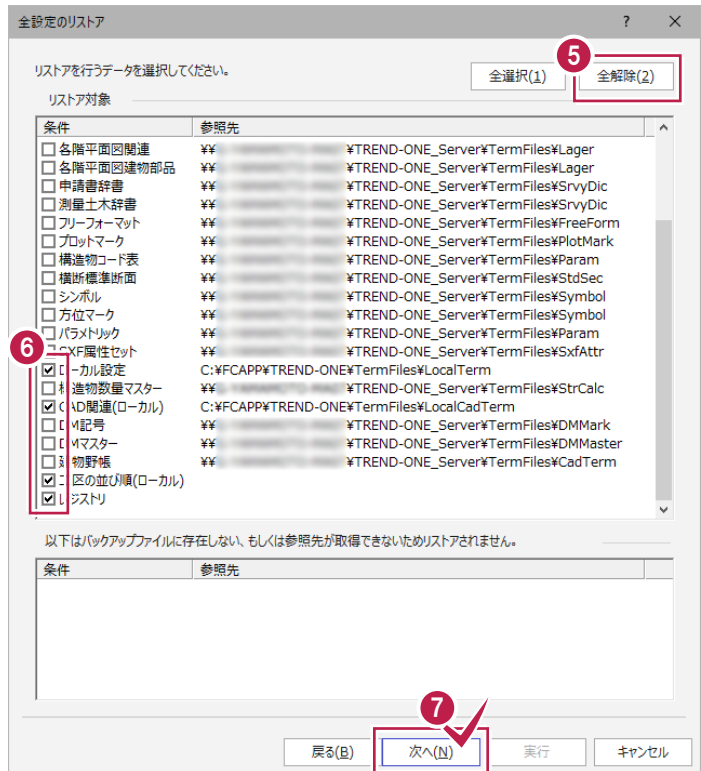
- 4 [次へ] をクリックします。

5 [全解除] をクリックします。

6 以下の条件のチェックのみ、「オン」にします。

- ローカル設定
- CAD 関連（ローカル）
- 工区の並び順（ローカル）
- レジストリ

7 [次へ] をクリックします。

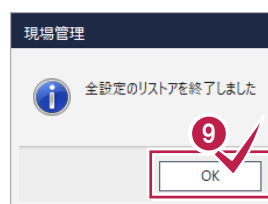


8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックします。

以上で「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は完了です。





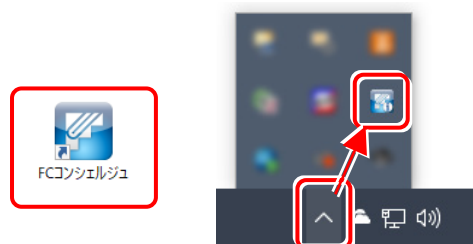
7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC コンシェルジュ」を起動します。

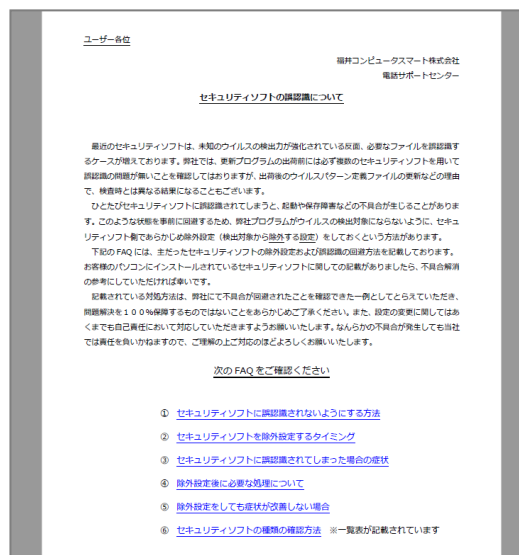


- 2 FC コンシェルジュの「ご案内」にある「（再掲載）セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新」をクリックします。

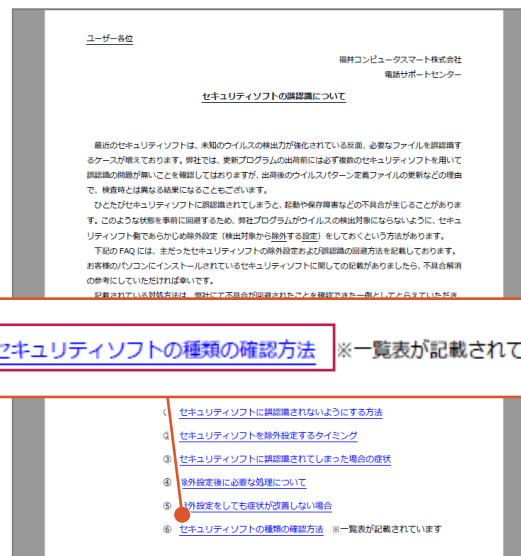
（※ご案内の日付は変わる場合があります。）



- 3 「セキュリティソフトの誤認識について」の PDF が開きます。内容を確認してください。



4 「⑥ セキュリティソフトの確認方法」をクリックします。



5 セキュリティソフトの FAQ が表示されます。

「製品別手順書」で、お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

FUKUI COMPUTER 起動関連

検索したい語句を入力してください。

起動関連>セキュリティソフト

プログラム名	起動関連	Ver.	-	ID	SYS0028	更新日	2019/11/22
<p>Q: 自分のPCに入っているセキュリティソフトの種類はどのようにして確認できますか。</p> <p>A: デスクトップや通知領域のアイコン、スタートメニューのプログラム名などでご確認ください。 次の一覧より、各セキュリティソフトの除外設定手順に進めます。</p>							

5

販売元	製品別手順書
トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTレッツウイルスクリア・セキュリティ対策ツールはこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)
シマンテック (ノートン) シマンテック	ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ マイクロソフト ディフェンダー Windows セキュリティセンター
ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
カスペルスキー	インターネット セキュリティ (アンチウイルス) ※@Niftyの常時安全セキュリティ24はこちら エンドポイント セキュリティ
マカフィー	リブセーフ インターネットセキュリティ Ver.16

対応OS	クライアントOS	Windows 10 November 2019 Update バージョン1909(64bit) Windows 8.1 (64bit) Windows 7 SP1 (64bit)										
	サーバOS(※1)	Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2012 R2 (64bit) Windows Server 2012 (64bit) Windows Server 2008 R2 SP1 (64bit) Windows Server 2008 SP2 以降 (64bit)										
CPU	推奨 Core i7 (最低 Core i5 以上) :Intel社製 Celeronでは動作しません。											
必要メモリ	推奨 8.0GB (最低 4.0GB 以上)											
必要HDD容量	2.0GB 以上											
必要解像度	推奨 1600×1200 (最低 1280×1024 以上)											
その他	<p>Internet Explorer 11.0 以上必須 VIDEO : OpenGLをサポートするグラフィックボード(3Dビュー表示時) VIDEOメモリ : 64MB以上(推奨128MB以上、3Dビュー表示時) Google Earth(TM)に関する機能については、Google Earth(TM)をインストールする必要があります。</p> <p>●Microsoft Office(Excel) : CAD連携機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バージョン</th> <th>サービスパック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2016 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2013 (32/64bit)</td> <td>SP1 以降</td> </tr> <tr> <td>2010 (32/64bit)</td> <td>SP1 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「ストアアプリ版」のOfficeがインストールされている環境では、一部機能が正常に動作しません。「デスクトップアプリ版」のOfficeをご利用ください。</p>		バージョン	サービスパック	2019 (32/64bit)		2016 (32/64bit)		2013 (32/64bit)	SP1 以降	2010 (32/64bit)	SP1 以降
バージョン	サービスパック											
2019 (32/64bit)												
2016 (32/64bit)												
2013 (32/64bit)	SP1 以降											
2010 (32/64bit)	SP1 以降											

(※1)ネットワーク環境は、TCP/IPプロトコルが動作する環境(100BASE-TX推奨)が必要です。

※ Windows10のデスクトップ環境における「タブレットモード:ON」での動作は保証外です。

※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。

※ Windows10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。

※ 仮想マシン上での動作は保証外です。

※ 上記動作環境は、2019年12月時点のものです。動作環境は予告なく変更する場合があります。商品により、動作環境が異なる場合があります。

※ 必要HDD容量は、データの大きさにより異なります。

※ CPUは、intel社製 Coreに限ります。

※ プログラムのインストール時にDVD-ROMドライブまたはネットワーク環境などのDVD-ROMを認識できる環境が必要です。

※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。

※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。

ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点(例えば支店や営業所)から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。